

<配布資料「別紙①～⑩」目次>

- ・ 別紙① 「中間市こどもの生活に関するアンケート」
(小学1年生から小学3年生対象)
- ・ 別紙② 「中間市こどもの生活に関するアンケート」
(小学4年生から小学6年生対象)
- ・ 別紙③ 「中間市こどもの生活に関するアンケート」
(中学1年生～中学3年生用)
- ・ 別紙④ 「中間市こども計画策定に係る市民アンケート調査」
(就学前児童の保護者対象)
- ・ 別紙⑤ 「中間市こども計画策定に係る市民アンケート調査」
(小学生の保護者対象)
- ・ 別紙⑥ 「中間市こどもの生活に関する意識調査」
(中学生の保護者対象)
- ・ 別紙⑦ 「中間市若者の生活に関する意識調査」
(15歳から39歳市民対象)
- ・ 別紙⑧ 「中間市こども計画策定に関するサービス提供事業者意向調査」
- ・ 別紙⑨ 「中間市こども計画策定に関する子育て・教育関係団体意向調査」
- ・ 別紙⑩ 「小学6年生向け・高校生向けワールドカフェ報告書」

小学1年生から小学3年生対象

中間市こどもの生活に関するアンケート

有効回答数・・・685 票

配布数 ……851 票

調査方法 ……小学1年生、2年生は、紙による調査票への回答
小学3年生は web 回答

	%
web回答	38.2
紙による調査票回答	61.8
合計	100.0

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたが通っている小学校はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中間	17.1
中間東	26.1
中間西	17.5
中間南	9.3
中間北	15.2
底井野	13.1
無回答	1.6
合計	100.0

あなたのことや、おうちでのことについてうかがいます。

問2 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
女性	46.6
男性	48.9
その他(わからない・答えたくない)	3.2
無回答	1.3
合計	100.0

問3 あなたの学年をお聞きます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
小学1年生	32.6
小学2年生	28.0
小学3年生	38.0
無回答	1.5
合計	100.0

問4 いま、あなたといっしょに暮らしている人はだれですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
お母さん	95.5
お父さん	80.4
きょうだい	80.9
おばあさん	17.1
おじいさん	11.7
その他	2.9

問5 あなたは、一週間にどのくらい食事をしていますか。①～③それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	合計	毎日	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日	ほとんど 食べない	無回答
①朝食を食べる	685 100.0	523 76.4	63 9.2	18 2.6	8 1.2	43 6.3	30 4.4
②夕食を食べる	685 100.0	603 88.0	34 5.0	4 0.6	5 0.7	16 2.3	23 3.4
③学校が休みの日、昼食を食べる	685 100.0	580 84.7	51 7.4	13 1.9	7 1.0	21 3.1	13 1.9

問6 あなたは、家族(お母さんやお父さん、きょうだいなど)といっしょに、次のことをどのくらいしていますか。

①～⑦それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	合計	ほとんど毎日	週に5～6日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどしない	無回答
①朝食を食べる	685 100.0	469 68.5	61 8.9	14 2.0	33 4.8	79 11.5	29 4.2
②夕食を食べる	685 100.0	555 81.0	38 5.5	17 2.5	16 2.3	30 4.4	29 4.2
③遊ぶ(例えば、ごはんのあとにトランプをする、ボール遊びをする など)	685 100.0	299 43.6	82 12.0	51 7.4	62 9.1	156 22.8	35 5.1
④勉強や宿題をする	685 100.0	188 27.4	84 12.3	84 12.3	103 15.0	185 27.0	41 6.0
⑤学校や友だちの話をする	685 100.0	455 66.4	60 8.8	24 3.5	42 6.1	72 10.5	32 4.7
⑥出かける	685 100.0	418 61.0	83 12.1	50 7.3	33 4.8	74 10.8	27 3.9
⑦料理、そうじ、洗たくなど家事をする	685 100.0	230 33.6	125 18.2	104 15.2	123 18.0	73 10.7	30 4.4

問7 あなたは、学校がある日の夜は、何時くらいに寝ていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
8時より早い	10.8
8時から9時	26.3
9時から10時	36.8
10時から11時	14.6
11時より遅い	7.2
無回答	4.4
合計	100.0

問8 あなたは、スマートフォンやパソコン、タブレット、ゲーム機などインターネットが使える機器を持っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
自分だけで使う機器を使っている	48.9
家族で同じ機器を使っている	36.6
持っていない	9.9
無回答	4.5
合計	100.0

学校での生活についてうかがいます。

問9 あなたの学校での生活について、うかがいます。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
下のようなことはあまりない	53.9
学校を休んでしまうことが多い	8.8
ちこく・早たいをすることが多い	11.5
忘れ物が多い	19.7
保健室で過ごすことが多い	3.8
学校では1人で過ごすことが多い	8.2

あなたの健康や悩み、おうち・学校以外での生活についてうかがいます。

問10 あなたの体の具合について、うかがいます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
よい	49.2
まあよい	18.4
ふつう	19.1
あまりよくない	6.9
よくない	2.0
無回答	4.4
合計	100.0

問11 あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家族のこと	17.1
友だちのこと	13.6
勉強のこと	14.6
習いごとのこと	14.3
生活や勉強に必要なお金のこと	6.7
自分の体や気持ちのこと	10.1
自分の将来のこと	14.6
今、悩んでいることはない	34.9
その他	1.0

問 12 あなたが悩んだり困ったりしたときに相談できると思う人は誰ですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
お父さん	43.4
お母さん	65.1
きょうだい	28.1
おじいさん・おばあさん	18.7
友だち	31.0
学校の先生(保健室の先生以外)	25.1
保健室の先生	11.1
学校のスクールカウンセラー	3.2
その他のおとな(近所の人、塾や習いごとの先生など)	6.3
インターネット上(LINE、X(前のTwitter)など)の知り合い	2.9
だれにも相談しない	8.0
その他	1.8

問 13 あなたの悩みや困りごとをまわりのおとなに相談するとしたら、あなたは、どんな方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
会って話をきいてもらいたい	64.4
携帯電話・スマートフォン	15.3
SNS(LINE、X(前のTwitter)など	6.3
メール	12.6
手紙	12.0
その他	1.8

問 14 あなたにとって、ほっとできる場所はどこですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
自分の部屋	40.4
自分の家	58.1
親せきの家(おじいさん、おばあさんなどの家)	24.2
学校	26.9
塾など習い事の場所	12.0
友だちの家	20.6
図書館や公園など	19.9
インターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)	7.2
ほっとできる場所、居心地がいいと感じる場所はない	2.8
その他	4.5

問15 あなたは、家や学校のほかに、どのような場所であれば、行ってみたい、利用してみたいと思いますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
放課後や休の日に過ごすことができる場	52.4
ご飯を無料または安く食べることができる場所	48.6
勉強を無料で見てくれる場所	31.7
悩みや困ったことを相談することができる場所	28.2
その他	3.6

■ あなたがお世話をしている家族についてうかがいます。

問16 あなたが、お世話をしている家族はいますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

※ここで、「お世話」とは、もともと大人がする、問17のような家事や家族のお世話のことです。

	%
自分が中心となってお世話をしている家族はいない	39.3
お母さん	28.9
お父さん	19.9
きょうだい	26.4
おばあさん・おじいさん	14.7
その他	2.8

問17 あなたは、どのようなお世話をしていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家事(ご飯をつくる、掃除や洗濯など)	23.6
お風呂やトイレのお世話	16.4
買い物にいっしょに行く	33.4
病院にいっしょに行く	9.2
お金のお世話	4.2
薬のお世話	5.5
その他	2.0

中間市の印象などについてうかがいます。

問18 あなたは、おうちのことや学校での生活、中間市は好きですか。①～③それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① おうちのことについて

	%
とても好き	70.4
好き	16.8
あまり好きでない	4.4
まったく好きでない	0.9
どちらとも言えない	3.4
無回答	4.2
合計	100.0

② 学校での生活について

	%
とても好き	42.3
好き	29.1
あまり好きでない	12.3
まったく好きでない	5.3
どちらとも言えない	5.5
無回答	5.5
合計	100.0

③ 中間市について

	%
とても好き	59.3
好き	19.9
あまり好きでない	8.0
まったく好きでない	1.5
どちらとも言えない	3.2
無回答	8.2
合計	100.0

小学4年生から小学6年生対象

中間市こどもの生活に関するアンケート

有効回答数・・・843 票

配布数・・・870 票

有効回収率・・・96.9%

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたはどの小学校区に住んでいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
 (どの小学校区が分からないときは、住んでいる町名をご記入ください。)

	%
中間	16.3
中間東	22.8
中間西	13.2
中間南	20.6
中間北	14.6
底井野	9.4
校区がわからない	2.3
無回答	0.9
合計	100.0

あなたのことや、おうちでの生活についてうかがいます。

問2 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
女性	44.5
男性	53.3
その他(わからない・答えたくない)	2.0
無回答	0.2
合計	100.0

問3 あなたの学年をお聞きます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
小学4年生	33.7
小学5年生	32.3
小学6年生	33.7
無回答	0.4
合計	100.0

問4 いま、あなたといっしょに暮らしている人はどなたですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
お母さん	96.7
お父さん	81.0
姉や兄	51.8
妹や弟	48.0
おばあさん	15.5
おじいさん	8.9
その他	1.3

問5 いっしょに暮らしている人の中で働いているのはどなたですか(料理、そうじ、洗たくなどの家事以外で)。
あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
お母さん	83.2
お父さん	79.8
姉や兄	12.1
妹や弟	0.2
おばあさん	7.9
おじいさん	5.9
その他	1.5

問6 あなたは、一週間にどのくらい食事をしていますか。①～③それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	合計	毎日	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日	ほとんど 食べない	無回答
①朝食を食べる	843 100.0	614 72.8	85 10.1	38 4.5	28 3.3	73 8.7	5 0.6
②夕食を食べる	843 100.0	788 93.5	29 3.4	6 0.7	7 0.8	10 1.2	3 0.4
③学校が休みの日、昼食を食べる	843 100.0	706 83.7	56 6.6	27 3.2	16 1.9	36 4.3	2 0.2

問7 あなたは家族(お母さんやお父さん、きょうだいなど)といっしょに、次のことをどのくらいしていますか。

①～⑦それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	合計	ほとんど毎日	週に5～6日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどしない	無回答
①朝食を食べる	843 100.0	493 58.5	73 8.7	55 6.5	59 7.0	156 18.5	7 0.8
②夕食を食べる	843 100.0	686 81.4	54 6.4	39 4.6	23 2.7	34 4.0	7 0.8
③遊ぶ(例えば、ごはんのあとにトランプをする、ボール遊びをする など)	843 100.0	238 28.2	73 8.7	107 12.7	139 16.5	281 33.3	5 0.6
④勉強や宿題をする	843 100.0	475 56.3	120 14.2	37 4.4	46 5.5	159 18.9	6 0.7
⑤学校や友だちの話をする	843 100.0	471 55.9	88 10.4	105 12.5	70 8.3	103 12.2	6 0.7
⑥出かける	843 100.0	195 23.1	119 14.1	216 25.6	215 25.5	93 11.0	5 0.6
⑦料理、そうじ、洗たくなど家事をする	843 100.0	211 25.0	92 10.9	185 21.9	151 17.9	199 23.6	5 0.6

問8 あなたは、学校がある日の夜は、何時くらいに寝ていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
9時より早い	7.8
9時から10時	44.6
10時から11時	26.6
11時から12時	13.5
12時より遅い	7.1
無回答	0.4
合計	100.0

問9 あなたは、スマートフォンやパソコン、タブレット、ゲーム機などインターネットが使える機器を持っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
自分だけで使う機器を持っている	70.5
家族で同じ機器を使っている	21.7
持っていない	6.4
無回答	1.4
合計	100.0

問 10 あなたはどのようなSNSを使っていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
LINE	61.6
Instagram	15.9
TikTok	42.3
X(前のTwitter)	12.3
Facebook	3.2
SNSを使っていない	26.7
その他	8.4

問 11 中間市公式SNSを見たことがありますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
LINE	10.0
Instagram	2.6
X(前のTwitter)	2.7
Facebook	0.9
見たことはない	85.4

学校での生活や勉強、進学のことについてうかがいます。

問 12 あなたの学校での生活について、うかがいます。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
下のようなことはあまりない	59.4
学校を休んでしまうことが多い	4.9
ちこく・早たいをすることが多い	7.7
忘れ物が多い	26.3
学校に提出するものを遅れて出すことが多い	16.0
保健室で過ごすことが多い	1.8
学校では1人で過ごすことが多い	5.8

問 13 あなたは、将来、どのようなところまで進学したいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中学校まで	3.1
高校まで	27.2
大学まで	42.0
まだわからない・答えたくない	27.4
無回答	0.4
合計	100.0

問 13-1 問13であなたが進学について回答した理由を教えてください。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
希望する学校や仕事、職業があるから	29.4
自分の夢を叶えたいから	48.0
自分の成績から考えて	9.5
親(保護者)がそう言っているから	7.9
きょうだいや親せきがそうしているから	2.8
たくさんお金がかかるから	4.5
早く働きたいから	11.4
特に理由はない	25.5
その他	5.3

問 14 あなたは、学校の授業や宿題以外に、塾や家庭教師などで勉強することがありますか(習字やそろばんなどの習いごとは含みません)。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
塾	14.4
家庭教師	1.2
通信教育(送られてきた教材を使って自宅で勉強することなど)	7.1
Youtubeなどの動画配信	5.9
学校の授業や宿題以外で勉強することはない	66.5

あなたの健康や悩み、おうち・学校以外での生活についてうかがいます。

問 15 あなたの健康状態を教えてください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
よい	55.6
まあよい	17.1
ふつう	22.3
あまりよくない	3.6
よくない	0.8
無回答	0.6
合計	100.0

問 16 あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家族のこと	9.4
学校のこと	8.3
友だちのこと	15.7
勉強・成績のこと	15.8
クラブ(部)活動、習いごとのこと	8.8
生活や勉強に必要なお金のこと	7.5
自分の体や気持ちのこと	10.2
自分の将来や進路のこと	17.6
今、悩んでいることはない	49.9
その他	0.9

問 16-1 あなたが悩んだり困ったりしたときに相談できると思う人は誰ですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
親(保護者)	68.8
きょうだい	25.1
祖父母や親せき(おじいさん、おばあさん、おじ、おば、いとこなど)	27.2
学校の友だち	51.1
学校以外の友だち	18.3
学校の先生(保健室の先生以外)	25.0
保健室の先生	8.4
学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	2.4
病院の人やヘルパー	2.4
その他のおとな(近所の人、塾や習いごとの先生など)	4.7
インターネット上(LINE、X(前のTwitter)など)の知り合い	6.5
相談できると思う人はいない	7.9
その他	1.1

問 16-2 あなたの悩みや困りごとをまわりのおとなに相談するとしたら、あなたは、どんな方法で話を聞いてもらったり相談にのったりしてほしいですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
直接会って話をきいてもらいたい	71.1
携帯電話・スマートフォン	27.8
SNS(LINE、X(前のTwitter)など	13.3
メール	10.8
手紙	7.2
その他	1.8

問 17 今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所)となっているのはどこですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
自分の部屋	56.3
自分の家(部屋以外)	67.0
親せきの家(おじいさん、おばあさん、おじ、おば、いとこなどの家)	33.5
学校	29.5
塾など習い事の場所	7.0
友だちの家	24.7
地域(公民館など)	5.3
公共施設(図書館や公園など)	10.0
民間施設(大きなお店など)	3.8
インターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)	16.5
居場所はない	2.3
その他	2.8

問 17-2 あなたは、家や学校以外で、どのような場所であれば行ってみたい、利用してみたいと思いますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
放課後や休日を無料で過ごすことができる場所(図書館、公民館など)	48.2
ご飯を無料または安く食べることができる場所(こども食堂など)	36.1
勉強を無料で見てくれる場所	22.4
悩みや困ったことを相談できる場所(電話やネットの相談も含む)	19.1
その他	10.8

あなたが中心になってお世話をしている家族についてうかがいます。

問 18 あなたが中心となって、お世話をしている家族はいますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

※ここで、「お世話」とは、もともと大人がする、問19のような家事や家族のお世話のことです。

	%
自分が中心となってお世話をしている家族はいない	45.6
お母さん	28.9
お父さん	19.7
姉や兄	7.7
妹や弟	18.5
おばあさん	10.9
おじいさん	7.0
おば・おじ	3.3
その他	1.1

★問 19～問 22 は、中心となってお世話をしている家族がいる人(問 18 で「1.」以外の回答をした人)だけお答えください。

問 19 あなたは、どのようなお世話をしていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家事(食事の準備、掃除、洗濯など)	51.3
きょうだいのお世話や送り迎え	23.1
入浴やトイレのお世話	20.9
買い物や散歩にいっしょに行く	31.9
病院にいっしょに行く	9.3
話を聞く	26.1
見守り	26.6
通訳(日本語や手話など)	1.3
お金の管理	7.3
薬の管理	5.0
その他	3.0

問 20 あなたは、どのくらいお世話をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ほとんど毎日	38.9
週に3～5日	33.9
週に1～2日	15.1
1か月に数日	5.8
その他	1.3
無回答	5.0
合計	100.0

問 21 あなたは平日、だいたい何時間くらいお世話をしていますか。

	%
1 時間以内	46.0
1 時間から2 時間	23.6
2 時間から3 時間	11.8
3 時間から4 時間	4.8
5 時間以上	7.8
無回答	6.0
合計	100.0

問 22 あなたはお世話をしている中でどのようなことを思っていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家族の役に立ててうれしい	51.3
周りの人にほめられてうれしい	19.6
家事が一人でできるようになってよかった	16.8
将来は人の世話をする仕事につきたい	7.8
もっと友だちと遊ぶ時間がほしい	18.6
もっと勉強する時間がほしい	4.3
もっと寝る時間がほしい	12.3
その他	22.4
特にない	1.8

中間市の取組や印象などについてうかがいます。

問 23 子どもの権利があることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※ 国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められています。

	%
知っている	32.4
知らない	65.2
無回答	2.4
合計	100.0

問 24 「中間市子どもを守る条例」があることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
知っている	14.0
知らない	84.2
無回答	1.8
合計	100.0

問 25 あなたが、今後も中間市に住み続けることについて伺います。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ずっと中間市に住み続けたい	21.0
できれば中間市に住み続けたい	21.5
できれば中間市に住みたくない	7.7
絶対、中間市に住みたくない	3.0
一度は中間市を出たいが、将来は中間市に住みたい	12.6
わからない	33.8
無回答	0.5
合計	100.0

問 26 あなたは自分の家庭や学校生活、中間市に満足していますか。①～③それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家庭について

	%
とても満足している	55.9
満足している	26.5
どちらとも言えない	13.8
満足していない	1.8
まったく満足していない	1.8
無回答	0.4
合計	100.0

② 学校生活について

	%
とても満足している	39.0
満足している	35.7
どちらとも言えない	18.3
満足していない	3.8
まったく満足していない	2.6
無回答	0.6
合計	100.0

③ 中間市について

	%
とても満足している	46.7
満足している	29.1
どちらとも言えない	17.8
満足していない	3.3
まったく満足していない	2.3
無回答	0.8
合計	100.0

中学1年生～中学3年生用

中間市こどもの生活に関するアンケート

有効回答数・・・788 票

配布数・・・962 票

有効回収率・・・81.9%

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたはどの小学校区に住んでいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
 (どの小学校区が分からないときは、住んでいる町名をご記入ください。)

	%
中間	13.8
中間東	26.4
中間西	12.4
中間南	22.5
中間北	12.4
底井野	7.5
校区がわからない	4.8
無回答	0.1
合計	100.0

あなたのことや、^{せいかつ}おうちでの生活についてうかがいます。

問2 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
女性	46.6
男性	51.3
その他(わからない・答えたくない)	2.2
合計	100.0

問3 あなたの学年をお聞きます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中学1年生	33.2
中学2年生	32.5
中学3年生	34.0
無回答	0.3
合計	100.0

問4 いま、あなたといっしょに暮らしている人はどなたですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
お母さん	94.4
お父さん	77.8
姉や兄	54.3
妹や弟	51.0
おばあさん	14.5
おじいさん	6.6
その他	3.8

問5 いっしょに暮らしている人の中で働いているのはどなたですか(料理、掃除、洗濯などの家事以外で)。
あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
お母さん	82.5
お父さん	76.8
姉や兄	20.8
妹や弟	1.3
おばあさん	5.5
おじいさん	4.1
その他	4.3

問6 あなたは、一週間にどのくらい食事をしていますか。①～③それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	合 計	毎 日	週 5 ～ 6 日	週 3 ～ 4 日	週 1 ～ 2 日	ほ と ん ど 食 べ な い	無 回 答
①朝食を食べる	788 100.0	511 64.8	131 16.6	54 6.9	24 3.0	67 8.5	1 0.1
②夕食を食べる	788 100.0	735 93.3	39 4.9	6 0.8	1 0.1	5 0.6	2 0.3
③学校が休みの日、昼食を食べる	788 100.0	617 78.3	78 9.9	42 5.3	23 2.9	26 3.3	2 0.3

問7 あなたは家族(お母さんやお父さん、きょうだいなど)といっしょに、次のことをどのくらいしていますか。

①～⑦それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	合計	ほとんど毎日	週に5～6日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどしない	無回答
①朝食を食べる	788 100.0	323 41.0	68 8.6	66 8.4	65 8.2	262 33.2	4 0.5
②夕食を食べる	788 100.0	567 72.0	77 9.8	48 6.1	41 5.2	52 6.6	3 0.4
③遊ぶ(例えば、ごはんのあとにトランプをする、ボール遊びをする など)	788 100.0	279 35.4	65 8.2	84 10.7	136 17.3	222 28.2	2 0.3
④勉強や宿題をする	788 100.0	214 27.2	99 12.6	86 10.9	73 9.3	313 39.7	3 0.4
⑤学校や友だちの話をする	788 100.0	351 44.5	93 11.8	125 15.9	104 13.2	110 14.0	5 0.6
⑥出かける	788 100.0	83 10.5	73 9.3	164 20.8	332 42.1	132 16.8	4 0.5
⑦料理、そうじ、洗たくなど家事をする	788 100.0	172 21.8	78 9.9	150 19.0	193 24.5	193 24.5	2 0.3

問8 あなたは、学校がある日の夜は、何時くらいに寝ていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
9時より早い	2.0
9時から10時	8.6
10時から11時	25.9
11時から12時	33.9
12時より遅い	29.4
無回答	0.1
合計	100.0

問9 あなたは、スマートフォンやパソコン、タブレット、ゲーム機などインターネットが使える機器を持っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
自分だけで使う機器を持っている	89.1
家族で同じ機器を使っている	8.8
持っていない	1.9
無回答	0.3
合計	100.0

問 10 あなたはどのようなSNSを使っていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
LINE	89.8
Instagram	60.3
TikTok	65.9
X(前のTwitter)	37.4
Facebook	3.7
SNSを使っていない	6.5
その他	4.3

問 11 中間市公式SNSを見たことがありますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
LINE	2.5
Instagram	12.2
X(前のTwitter)	3.6
Facebook	0.6
見たことはない	82.4

学校生活に関わることや勉強、進学のことについてうかがいます。

問 12 あなたの学校生活について、うかがいます。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
下のようなことはあまりない	54.4
学校を休んでしまうことが多い	5.8
遅刻・早退をすることが多い	8.0
忘れ物が多い	21.6
学校に提出するものを遅れて出すことが多い	28.8
保健室で過ごすことが多い	2.4
学校では1人で過ごすことが多い	7.2

問 13 あなたは、将来、どのようなところまで進学したいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中学校まで	0.5
高校まで	23.6
短期大学・高等専門学校・専門学校まで	13.6
大学まで	37.7
大学院まで	2.2
まだわからない・答えたくない	22.2
無回答	0.3
合計	100.0

問 13-1 問13であなたが進学について回答した理由を教えてください。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
希望する学校や仕事、職業があるから	40.9
自分の夢を叶えたいから	39.8
自分の成績から考えて	15.1
親(保護者)がそう言っているから	13.3
きょうだいや親せきがそうしているから	6.6
家計の負担になるから	6.6
早く働きたいから	10.2
特に理由はない	24.7
その他	4.9

問 14 あなたは、学校の授業や宿題以外に、塾や家庭教師などで勉強することがありますか(習字やそろばんなどの習いごとは含みません)。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
塾	29.4
家庭教師	2.4
通信教育(送られてきた教材を使って自宅で勉強することなど)	2.7
iPadを活用した自習用教材	5.7
Youtubeなどの学習に関する配信	14.1
教科書や問題集で	38.1
学校の授業や宿題以外で勉強することはない	34.6

あなたの健康や悩み、おうち・学校以外での生活についてうかがいます。

問 15 あなたの健康状態を教えてください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
よい	50.9
まあよい	23.1
ふつう	19.3
あまりよくない	5.7
よくない	0.8
無回答	0.3
合計	100.0

問 16 あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家族のこと	10.0
学校のこと	11.5
友だちのこと	17.8
勉強・成績のこと	43.8
クラブ(部)活動、習いごとのこと	17.3
生活や勉強に必要なお金のこと	7.9
自分の体や気持ちのこと	15.5
自分の将来や進路のこと	36.7
今、悩んでいることはない	31.2
その他	0.8

問 16-1 あなたが悩んだり困ったりしたときに相談できると思う人は誰ですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
親(保護者)	62.1
きょうだい	25.8
祖父母や親せき(おじいさん、おばあさん、おじ、おば、いとこなど)	18.4
学校の友だち	60.0
学校以外の友だち	23.2
学校の先生(保健室の先生以外)	22.6
保健室の先生	1.4
学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	6.3
病院の人やヘルパー	2.4
その他のおとな(近所の人、塾や習いごとの先生など)	5.6
インターネット上(LINE、X(前のTwitter)など)の知り合い	10.4
相談できると思う人はいない	10.5
その他	0.6

問 16-2 あなたの悩みや困りごとをまわりのおとなに相談するとしたら、あなたは、どんな方法で話を聞いてもらったり相談にのったりしてほしいですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
直接会って話をきいてもらいたい	68.1
携帯電話・スマートフォン	35.2
SNS(LINE、X(前のTwitter)など	26.5
メール	16.4
手紙	4.8
その他	1.5

問 17 今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所)となっているのはどこですか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
自分の部屋	77.2
自分の家(部屋以外)	60.9
親せきの家(おじいさん、おばあさん、おじ、おば、いとこなどの家)	28.0
学校	25.1
塾など習い事の場所	9.0
友だちの家	22.0
地域(公民館など)	2.2
公共施設(図書館や公園など)	7.5
民間施設(大きなお店など)	5.2
インターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)	22.7
居場所はない	1.5
その他	2.9

問 17-2 あなたは、家や学校以外で、どのような場所であれば行ってみたい、利用してみたいと思いますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
放課後や休日を無料で過ごすことができる場所(図書館、公民館など)	56.3
ご飯を無料または安く食べることができる場所(こども食堂など)	38.8
勉強を無料で見てくれる場所	30.2
悩みや困ったことを相談できる場所(電話やネットの相談も含む)	14.3
その他	7.0

あなたが中心になってお世話をしている家族についてうかがいます。

問 18 あなたが中心となって、お世話をしている家族はいますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

※ここで、「お世話」とは、もともと大人がする、問19のような家事や家族のお世話のことです。

	%
自分が中心になってお世話をしている家族はいない	69.3
お母さん	12.3
お父さん	8.4
姉や兄	4.6
妹や弟	9.4
おばあさん	4.4
おじいさん	2.3
おば・おじ	1.4
その他	0.6

★問 19～問 22 は、中心となってお世話をしている家族がいる人(問 18 で「1.」以外の回答をした人)だけお答えください。

問 19 あなたは、どのようなお世話をしていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家事(食事の準備、掃除、洗濯など)	49.2
きょうだいのお世話や送り迎え	21.5
入浴やトイレのお世話	19.8
買い物や散歩に一緒に行く	32.2
病院に一緒に行く	7.9
話を聞く	36.2
見守り	39.0
通訳(日本語や手話など)	2.8
お金の管理	4.5
薬の管理	4.0
その他	4.0

問 20 あなたは、どのくらいお世話をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ほとんど毎日	37.3
週に3～5日	28.8
週に1～2日	14.7
1か月に数日	9.6
その他	1.7
無回答	7.9
合計	100.0

問 21 あなたは平日、だいたい何時間くらいお世話をしていますか。

	%
1時間以内	41.8
1時間から2時間	20.3
2時間から3時間	18.1
3時間から4時間	6.8
5時間以上	4.5
無回答	8.5
合計	100.0

問 22 あなたはお世話をしている中でどのようなことを思っていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家族の役に立ててうれしい	34.5
周りの人にほめられてうれしい	14.7
家事が一人でできるようになってよかった	16.4
将来は人の世話をする仕事につきたい	7.3
もっと友だちと遊ぶ時間がほしい	19.2
もっと勉強する時間がほしい	6.8
もっとねむる時間がほしい	13.0
その他	29.4
特にない	2.8

中間市の取組や印象などについてうかがいます。

問 23 子どもの権利があることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※ 国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められています。

	%
知っている	78.3
知らない	21.3
無回答	0.4
合計	100.0

問 24 「中間市子どもを守る条例」があることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
知っている	18.9
知らない	80.8
無回答	0.3
合計	100.0

問 25 あなたが、今後も中間市に住み続けることについて伺います。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ずっと中間市に住み続けたい	5.1
できれば中間市に住み続けたい	14.2
できれば中間市に住みたくない	16.8
絶対、中間市に住みたくない	5.8
一度は中間市を出たいが、将来は中間市に住みたい	10.4
わからない	47.3
無回答	0.4
合計	100.0

問26 あなたは自分の家庭や学校生活、中間市に満足していますか。①～③それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家庭について

	%
とても満足している	43.7
満足している	34.5
どちらとも言えない	17.4
満足していない	2.9
まったく満足していない	1.1
無回答	0.4
合計	100.0

② 学校生活について

	%
とても満足している	29.2
満足している	40.9
どちらとも言えない	23.7
満足していない	3.6
まったく満足していない	2.2
無回答	0.5
合計	100.0

③ 中間市について

	%
とても満足している	17.9
満足している	32.1
どちらとも言えない	37.2
満足していない	9.6
まったく満足していない	2.4
無回答	0.8
合計	100.0

就学前児童の保護者対象

中間市こども計画策定に係る市民アンケート調査

有効回答・・・ 227 票

配布数・・・1,079 票

有効回収率・・・21.0%

☆みなさんにうかがいます。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 現在お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

(お住まいの小学校区が分からない場合は、お住まいの町名をご記入ください。)

	%
中間	17.2
中間東	18.1
中間西	11.5
中間南	25.1
中間北	12.8
底井野	9.3
校区がわからない	6.2
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

小学校就学前のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

※ 小学校就学前のお子さんが複数おられる場合は、一番下の年齢のお子さんについて回答してください。

	%
0歳	16.7
1歳	17.6
2歳	17.2
3歳	14.5
4歳	18.5
5歳	10.6
6歳	4.0
無回答	0.9
合計	100.0

問3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
母親	84.6
父親	15.0
その他	0.4
合計	100.0

問4 問2で回答されたお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

	%
1人	31.7
2人	41.9
3人	19.4
4人	5.3
5人	1.3
6人	0.4
合計	100.0

問5 あなたには配偶者(またはパートナー※)がいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※配偶者と同じように、長い期間にわたり共有する価値や目標、同じライフスタイルを共有する相手(以降の設問でも同様)

	%
いる	92.5
いない	7.5
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

【ひとり親の方の場合は、ご自身の設問のみお答えください(問6-1～問6-3まで同じ)。】

【母親】

	%
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	29.5
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	10.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	32.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	5.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	18.5
これまで就労したことがない	0.4
無回答	2.6
合計	100.0

【父親】

	%
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	0.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	0.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	0.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.0
これまで就労したことがない	0.0
無回答	3.8
合計	100.0

★問6で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問6-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【母親】

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	11.5
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	35.6
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	44.8
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4.6
無回答	3.4
合計	100.0

【父親】

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	0.0
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	50.0
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	0.0
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0.0
無回答	50.0
合計	100.0

★問6で「5. 」または「6. 」に○をつけた方にうかがいます。

問6-3 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

【母親】

	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	14.0
1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい	58.1
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	23.3
無回答	4.7
合計	100.0

★問6-3で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

問6-4 希望する就労形態を選択してください。

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	30.0
パートタイム、アルバイト等	70.0
合計	100.0

【父親】 該当なし

☆みなさんにうかがいます。

宛名のお子さんの平日の日常的な幼稚園・保育園等のサービスの利用状況についてうかがいます

※ここでいう「日常的な幼稚園・保育園等のサービス」とは、月単位で日常的に利用しているもので、具体的には、問7-1に示したものがあたります。

問7 宛名のお子さんは現在、「日常的に幼稚園・保育園等のサービス」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
利用している	81.1
利用していない	18.9
合計	100.0

★問7-1～問7-3は、問7で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問7-1 宛名のお子さんは、平日どのような幼稚園・保育園等のサービスを利用していますか。

年間を通じて「日常的に」利用している施設・サービスをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
幼稚園（通常の就園時間の利用）	40.2
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ）	18.5
認可保育園（市が定める設備・運営基準に適合した施設で市の認可を受けた定員20人以上のもの）	31.5
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	23.4
小規模保育事業（3歳未満の子どもを19人以下の施設で保育する認可事業）	3.8
家庭的保育事業（3歳未満の子どもを5人以下で家庭等にて保育する認可事業）	0.0
事業所内保育施設（事業主が主として雇用する労働者の子どものほか、地域において保育を必要とする3歳未満児に保育を提供する認可事業）	0.0
企業主導型保育（企業が設置した、従業員の子どものみを保育する認可外保育施設）	0.5
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育するサービス）	0.5
認可外保育施設（中間市から認可を受けていない施設を除く施設）	0.0
児童発達センター	6.5
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かるサービス）	0.0
その他	0.5

問7-2 平日に日常的に利用している幼稚園・保育園等のサービスについて、現在、実際にどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字で選択してください。

(1)現在

■現在の1週当たりの日数

	%
1日	0.5
2日	1.6
3日	1.1
4日	3.3
5日	66.8
6日	26.6
合計	100.0

■現在の1日当たりの時間

	%
1時間	0.5
2時間	1.1
3時間	0.5
4時間	2.2
5時間	9.2
6時間	15.8
7時間	19.0
8時間	20.7
9時間	14.7
10時間	13.6
11時間	2.7
合計	100.0

■現在の利用開始時間

	%
7時	10.9
8時	44.0
9時	40.8
10時	4.3
合計	100.0

■現在の利用終了時間

	%
13時	1.6
14時	8.7
15時	22.3
16時	17.4
17時	29.9
18時	19.0
19時	1.1
合計	100.0

(2)希望

■希望の1週当たりの日数

	%
1日	0.5
2日	0.0
3日	0.5
4日	0.5
5日	69.0
6日	28.8
7日	0.5
合計	100.0

■現在の1日当たりの時間

	%
3時間	0.5
4時間	0.5
5時間	5.4
6時間	13.0
7時間	17.4
8時間	29.3
9時間	15.2
10時間	10.3
11時間	5.4
12時間	2.7
合計	100.0

■現在の利用開始時間

	%
7時	21.2
8時	48.4
9時	26.6
10時	3.3
11時	0.0
12時	0.0
13時	0.5
合計	100.0

■現在の利用終了時間

	%
14時	1.6
15時	16.3
16時	16.3
17時	29.9
18時	25.5
19時	8.7
20時	1.6
合計	100.0

問7-3 現在、利用している幼稚園・保育園等のサービスの実施場所(小学校区)についてうかがいます。当
てはまる番号1つに○をつけてください。(小学校区が分からない場合は、町名をご記入ください。)

	%
中間	18.5
中間東	15.2
中間西	13.0
中間南	23.4
中間北	9.8
底井野	10.3
校区がわからない	5.4
無回答	4.3
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

問8 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育園等のサー
ビスとして、「日常的に」利用したいと考える施設・サービスをお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
幼稚園（通常の就園時間の利用）	48.9
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ）	28.6
認可保育園（市が定める設備・運営基準に適合した施設で市の認可を受けた定員20人以上のもの）	37.9
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	31.7
小規模保育事業（3歳未満の子どもを19人以下の施設で保育する認可事業）	4.4
家庭的保育事業（3歳未満の子どもを5人以下で家庭等にて保育する認可事業）	0.9
事業所内保育施設（事業主が主として雇用する労働者の子どものほか、地域において保育を必要とする3歳未満児に保育を提供する認可事業）	4.0
企業主導型保育（企業が設置した、従業員の子どものみを保育する認可外保育施設）	5.7
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育するサービス）	4.4
認可外保育施設（中間市から認可を受けていない施設を除く施設）	1.8
児童発達センター	7.9
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かるサービス）	4.8
その他	1.3

★ 問8で「1. 幼稚園」と回答し、かつ、「3. ～12. の幼稚園以外のサービス」と回答した方、又は「2. 幼稚園の預かり保育」と回答し、かつ、「3. ～12. の幼稚園以外のサービス」と回答した方にうかがいます。

問8-1 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

	%
はい	60.3
いいえ	28.2
無回答	11.5
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

問9 幼稚園・保育園等のサービスを利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。(小学校区が分からない場合は、町名をご記入ください。)

	%
中間	19.8
中間東	19.4
中間西	10.1
中間南	22.9
中間北	8.8
底井野	9.3
校区がわからない	4.0
無回答	5.7
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

問10 (仮称)こども誰でも通園制度※が開始された場合、利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※(仮称)こども誰でも通園制度 (注) 下記内容は、今回の調査時点の状況となります。

生後6カ月～2歳のこどもなら誰でも、親の就労状況等に関わらず、月一定時間(10時間程度)の利用枠内で保育施設等を利用できる制度。現在、国において制度設計や検証が進められており、将来的に全国の自治体での実施が検討されている。

	%
利用を希望する	48.9
利用を希望しない	51.1
合計	100.0

★問10で「1. 利用を希望する」に○をつけた方にうかがいます。

問10ー1 (1)利用希望日数および利用希望時間と、(2)利用開始を希望することの年齢をそれぞれお答えください。

■1週当たりの日数

	%
1日	7.2
2日	10.8
3日	17.1
4日	1.8
5日	38.7
6日	22.5
7日	1.8
合計	100.0

■利用開始時刻

	%
7時	17.1
8時	39.6
9時	30.6
10時	11.7
11時	0.9
合計	100.0

■利用終了時刻

	%
13時	1.8
14時	9.0
15時	17.1
16時	10.8
17時	28.8
18時	20.7
19時	9.9
20時	1.8
合計	100.0

■利用開始を希望するこどもの年齢

	%
0歳6ヶ月	24.3
0歳7ヶ月	0.9
0歳8ヶ月	0.9
0歳9ヶ月	0.9
0歳10ヶ月	4.5
0歳11ヶ月	0.9
1歳0ヶ月	25.2
1歳2ヶ月	1.8
1歳3ヶ月	1.8
1歳4ヶ月	0.9
1歳5ヶ月	1.8
1歳6ヶ月	5.4
1歳8ヶ月	3.6
1歳9ヶ月	0.9
1歳10ヶ月	0.9
1歳11ヶ月	0.9
2歳0ヶ月	7.2
2歳2ヶ月	1.8
2歳3ヶ月	2.7
2歳4ヶ月	0.9
2歳5ヶ月	0.9
2歳6ヶ月	2.7
2歳7ヶ月	1.8
2歳8ヶ月	0.9
2歳10ヶ月	0.9
2歳11ヶ月	4.5
合計	100.0

★問10で「1. 利用を希望する」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 (仮称)こども誰でも通園制度をどこで利用したいですか。どれか1つの番号に○をつけてください。

	%
幼稚園（通常の就園時間の利用）	34.2
認可保育園（市が定める設備・運営基準に適合した施設で市の認可を受けた定員20人以上）	32.4
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	19.8
小規模保育事業（3歳未満の子どもを19人以下の施設で保育する認可事業）	2.7
家庭的保育事業（3歳未満の子どもを5人以下で家庭等にて保育する認可事業）	0.0
地域子育て支援拠点（子育て支援センター等：公共施設や保育所、児童館など地域にある身近な場所で、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や育児相談ができる場）	7.2
児童発達支援センター（障がいのある児童を対象に、身近な地域で支援を提供する施設）	3.6
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

お子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についてうかがいます。

問11 お子さんは、現在、「くるり広場」や「子育てサロン」（親子が自由に遊んだり、子育ての相談をしたり、情報提供を受けたりする場。）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用している場合、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

※実施場所　くるり広場　： 中間市総合会館「ハピネスなかま」3階
 子育てサロン　： 旧子育て支援センター1階

	%
くるり広場や子育てサロンを利用している	19.4
利用していない	80.6
合計	100.0

■利用しているおおよその利用回数

	%
1ヶ月当たり1回程度	43.2
1ヶ月当たり2回程度	13.6
1ヶ月当たり3回程度	6.8
1週当たり1回程度	18.2
1週当たり2回程度	9.1
1週当たり3回程度	4.5
1週当たり5回程度	2.3
1週当たり6回程度	2.3
合計	100.0

★問11で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 「くるり広場」や「子育てサロン」は、お住まいの地域にかかわらずどこでも利用できますが、利用する施設を選ぶとき、どのような視点で選びますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
家から近い	79.5
玩具や遊具が充実している	56.8
公共交通の便が良い	4.5
車で行きやすい(駐車場が広い)	56.8
相談できる職員がいる	40.9
その他	6.8

★問11で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問11-2 利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
家から遠い	7.7
地域の子育てサークルに満足している	1.1
交通手段がない	2.2
人の集まりが苦手	26.2
利用の仕方がわからない	16.9
就園している	50.8
知らなかった	24.0
その他	11.5

☆みなさんにうかがいます。

問12 「くるり広場」や「子育てサロン」について、今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

	%
利用していないが、今後利用したい	19.4
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	12.3
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	68.3
合計	100.0

問12で「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した人の

■おおよその利用回数

	%
1ヶ月当たり1回程度	43.2
1ヶ月当たり2回程度	15.9
1ヶ月当たり3回程度	4.5
1週当たり1回程度	15.9
1週当たり2回程度	9.1
1週当たり3回程度	4.5
1週当たり5回程度	2.3
1週当たり7回程度	2.3
無回答	2.3
合計	100.0

問12で「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の

■増やしたいおおよその利用回数

	%
1ヶ月当たり更に1回程度	14.3
1ヶ月当たり更に2回程度	14.3
1ヶ月当たり更に3回程度	10.7
1週当たり更に1回程度	7.1
1週当たり更に2回程度	17.9
1週当たり更に3回程度	14.3
1週当たり更に4回程度	7.1
無回答	14.3
合計	100.0

☆問7で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

「2. 利用していない」に○をつけた方は問14へ

お子さんが病気の際の対応についてうかがいます。

(平日の日常的な幼稚園・保育園等のサービスを利用している方のみ)

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで日常的に利用している幼稚園・保育園等のサービスが利用できなかったことはありますか。

	%
あった	71.7
なかった	25.5
無回答	2.7
合計	100.0

問13-1 その際、「病児・病後児保育※を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、病児・病後児保育を利用したかった日数についてご記入ください。

なお、病児・病後児保育の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

※ 「病児・病後児保育」・・・地域の児童を対象に当該児童が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペースにおいて看護師等が保育する事業、及び保育中に体調不良となった児童を保育所の医務室等において看護師等が緊急的な対応等を行う事業

	%
病児・病後児保育を利用したいと思った	42.4
利用したいとは思わなかった	56.1
無回答	1.5
合計	100.0

■利用したかった回数

	%
1日	8.9
2日	1.8
3日	16.1
4日	1.8
5日	10.7
7日	5.4
10日	7.1
14日	1.8
20日	1.8
無回答	44.6
合計	100.0

★問13-1で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
病気の子どもを他人にみてもらうのは不安	54.1
サービスの質に不安がある	10.8
利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない	17.6
利用方法がわからない	32.4
手続きがわずらわしい	32.4
親が仕事を休んで対応する	54.1
利用したいときに予約で埋まっていた	0.0
その他	5.4

☆みなさんにうかがいます。

お子さんの不定期及び宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問14 お子さんについて、日中の日常的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している一時預かり等のサービスはありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。

	%
一時預かり(私用など理由を問わずに保育園で一時的に子どもを保育するサービス)	5.7
幼稚園の預かり保育(通常時間外に子どもたちを保育するサービスのうち不定期に利用する場合のみ)	9.7
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもの預かりや送迎を行うサービス)	0.4
ショートステイ(児童養護施設等で一時的に子どもを保護するサービス)	0.9
トワイライトステイ(児童養護施設等で平日夜間又は休日に、子どもを保護するサービス)	0.4
ベビーシッター	0.4
利用していない	84.6

①一時預かりの利用日数	
	%
12日	7.7
25日	7.7
無回答	84.6
合計	100.0

②幼稚園の預かり保育の利用日数	
	%
1日	9.1
2日	4.5
3日	4.5
5日	9.1
6日	9.1
10日	4.5
20日	4.5
30日	4.5
50日	4.5
90日	4.5
無回答	40.9
合計	100.0

③ファミリー・サポート・センターの利用日数	
	%
無回答	100.0
④ショートステイの利用日数	
	%
10日	50.0
無回答	50.0
合計	100.0
⑤トワイライトステイの利用日数	
	%
無回答	100.0
⑥ベビーシッターの利用日数	
	%
無回答	100.0

☆みなさんにうかがいます。

問 15 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等のサービスを利用する見込みがあると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください)。なおサービスの利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	%
利用したい	43.2
利用する必要はない	56.8
合計	100.0

【利用目的】

	%
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	73.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	65.3
不定期の就労	37.8
その他	1.0

①私用（買物、こども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

	%
1日	15.3
2日	12.5
3日	5.6
4日	5.6
5日	5.6
6日	1.4
7日	1.4
10日	5.6
12日	9.7
20日	1.4
24日	4.2
30日	2.8
40日	1.4
60日	1.4
80日	1.4
無回答	25.0
合計	100.0

②冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

	%
1日	14.1
2日	14.1
3日	10.9
4日	4.7
5日	10.9
6日	7.8
7日	4.7
10日	6.3
12日	1.6
15日	3.1
無回答	21.9
合計	100.0

③不定期の就労の利用希望日数

	%
1日	13.5
2日	8.1
3日	8.1
5日	16.2
10日	13.5
24日	2.7
25日	2.7
50日	2.7
100日	2.7
無回答	29.7
合計	100.0

④その他の利用希望日数

	%
12日	100.0

★問 15 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 お子さんを預ける場合、次のいずれのサービス形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号
すべてに○をつけてください。

	%
施設で子どもを保育するサービス(例: 幼稚園・保育園等)	94.9
地域住民等が子育て家庭等の近くで保育するサービス(例: ファミリー・サポート・センター等)	19.4
その他	0.0

☆みなさんにうかがいます。

問 16 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

あった場合は、この1年間で当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

	%
預ける必要がある	21.1
預ける必要はない	78.9
合計	100.0

【保護者の用事】

	%
冠婚葬祭	41.7
保護者や家族の育児疲れ・不安	62.5
保護者や家族の病気	70.8
その他	8.3

①冠婚葬祭の日数

	%
1日	25.0
2日	10.0
3日	15.0
7日	5.0
10日	5.0
無回答	40.0
合計	100.0

②保護者や家族の育児疲れ・不安の日数	
	%
1日	10.0
2日	3.3
3日	3.3
4日	3.3
5日	10.0
7日	3.3
10日	10.0
12日	16.7
80日	3.3
無回答	36.7
合計	100.0
③保護者や家族の病気の日数	
	%
1日	5.9
2日	8.8
3日	11.8
5日	5.9
7日	2.9
10日	11.8
12日	2.9
14日	2.9
15日	2.9
20日	5.9
30日	2.9
無回答	35.3
合計	100.0
④その他の日数	
	%
2日	25.0
5日	50.0
6日	25.0
合計	100.0

★お子さんが、平成30年4月2日から平成31年4月1日生まれの方にかがいます。

⇒ 平成31年4月2日以降に生まれた方は、問 19 へ

お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問17 お子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「学童保育(放課後児童クラブ)」の場合には、利用を希望する時間と何年生まで利用したいかもご記入ください。

	%
自宅	46.4
祖父母宅や友人・知人宅	21.4
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	32.1
児童館	7.1
放課後こども教室	32.1
学童保育(放課後児童クラブ)	53.6
ファミリー・サポート・センター	3.6
部活動	0.0
その他(公民館、公園など)	3.6

① 自宅	
	%
2日	15.4
3日	7.7
4日	23.1
5日	23.1
無回答	30.8
合計	100.0
② 祖父母宅や友人・知人宅	
	%
1日	83.3
無回答	16.7
合計	100.0
③ 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	
	%
1日	33.3
2日	33.3
3日	11.1
無回答	22.2
合計	100.0
④ 児童館	
	%
2日	50.0
無回答	50.0
合計	100.0

⑤放課後こども教室	
	%
1日	44.4
2日	22.2
3日	11.1
4日	11.1
無回答	11.1
合計	100.0
⑥学童保育(放課後児童クラブ)	
	%
1日	6.7
2日	13.3
3日	13.3
4日	26.7
5日	33.3
無回答	6.7
合計	100.0
⑥学童保育(放課後児童クラブ)の利用を希望する時間	
	%
下校時から17時まで	33.3
下校時から17時30分まで	26.7
下校時から18時まで	20.0
下校時から18時30分まで	6.7
下校時から19時まで	13.3
合計	100.0
⑥学童保育(放課後児童クラブ)の利用を希望する学年	
	%
小学校2年生まで	13.3
小学校3年生まで	33.3
小学校4年生まで	26.7
小学校5年生まで	0.0
小学校6年生まで	20.0
無回答	6.7
合計	100.0
⑦ファミリー・サポート・センター	
	%
2日	100.0
⑦ファミリー・サポート・センターの利用を希望する時間	
	%
下校時から17時まで	100.0
⑦ファミリー・サポート・センターの利用を希望する学年	
	%
小学校3年生まで	100.0

⑧部活動 該当なし

⑨その他(公民館、公園など)	
	%
5日	100.0

問18 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「学童保育(放課後児童クラブ)」と「ファミリー・サポート・センターの場合には利用を希望する時間もご記入ください。

※かなり先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

	%
自宅	67.9
祖父母宅や友人・知人宅	21.4
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	50.0
児童館	7.1
放課後こども教室	10.7
学童保育(放課後児童クラブ)	14.3
ファミリー・サポート・センター	0.0
部活動	14.3
その他(公民館、公園など)	7.1

①自宅	
	%
1日	5.3
2日	15.8
3日	15.8
4日	15.8
5日	36.8
無回答	10.5
合計	100.0
②祖父母宅や友人・知人宅	
	%
1日	33.3
3日	16.7
5日	16.7
無回答	33.3
合計	100.0
③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	
	%
1日	35.7
2日	35.7
3日	21.4
無回答	7.1
合計	100.0

④児童館	
	%
3日	50.0
無回答	50.0
合計	100.0
⑤放課後こども教室	
	%
1日	33.3
2日	66.7
合計	100.0
⑥学童保育(放課後児童クラブ)	
	%
3日	50.0
4日	25.0
5日	25.0
合計	100.0
⑥学童保育(放課後児童クラブ)の利用を希望する時間	
	%
下校時から17時まで	25.0
下校時から17時30分まで	25.0
下校時から18時まで	25.0
無回答	25.0
合計	100.0

⑦ファミリー・サポート・センター 該当なし

⑧部活動	
	%
1日	25.0
無回答	75.0
合計	100.0
⑨その他(公民館、公園など)	
	%
5日	50.0
無回答	50.0
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

問19 子育てをする中で、どのような支援・対策が必要だと感じていますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
経済的負担の軽減(子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など)	90.7
妊娠・出産・産後ケアに対する支援	48.5
保育・幼児サービスの充実	62.1
小中学期における教育環境の充実	58.6
子育てに関する相談や情報を得ることができる場づくり	27.8
育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進	44.1
男女がともに子育てを担う社会の意識づくり	36.6
家事負担の軽減	33.0
子どもが安全・安心に遊べる場の整備	74.0
安心して医療機関にかかれる体制の整備(小児救急や夜間小児診療など)	62.1
子育てを地域全体で支え合う仕組みづくり	29.5
安全な道路や公共施設などの整備、自然環境の保護	47.1
特別な支援を必要とする児童への支援(障がい、DV被害、生活困窮など)	33.9
子育てしやすい住まいの整備に対する支援	51.5
その他	2.6

問20 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つ○をつけてください。

	%
とても満足	0.9
まあ満足	15.0
普通	41.4
少し不満	28.2
とても不満	14.5
合計	100.0

小学生の保護者対象

中間市こども計画策定に係る市民アンケート調査

有効回答数・・・274 票

配布数 ・・・1,721 票

有効回収率・・・15.9%

☆みなさんにうかがいます。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 現在お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中間	13.1
中間東	30.3
中間西	11.3
中間南	23.4
中間北	12.8
底井野	8.8
校区がわからない	0.4
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの学年をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 小学校のお子さんが複数おられる場合は、年齢が一番下のお子さんについて回答してください。

	%
小学1年生	24.8
小学2年生	24.5
小学3年生	17.5
小学4年生	13.1
小学5年生	10.9
小学6年生	9.1
合計	100.0

問3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
母親	90.9
父親	9.1
その他	0.0
合計	100.0

問4 問2のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。□内に数字でご記入ください。

	%
1人	27.0
2人	42.0
3人	23.4
4人	6.2
5人	1.1
6人以上	0.4
合計	100.0

問5 あなたには配偶者(またはパートナー※)がいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※配偶者と同じように、長い期間にわたり共有する価値や目標、同じライフスタイルを共有する相手(以降の設問でも同様)

	%
いる	86.9
いない	13.1
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

【ひとり親の方の場合は、ご自身の設問のみお答えください(問6-1～問6-3まで同じ)。】

【母親】

	%
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	37.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	36.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	3.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	16.2
これまで就労したことがない	1.1
無回答	2.6
合計	100.0

【父親】

	%
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	93.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	0.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	1.2
これまで就労したことがない	0.0
無回答	3.3
合計	100.0

★問6で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問6-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【母親】

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	4.6
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	32.4
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	40.7
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	12.0
無回答	10.2
合計	100.0

【父親】

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	0.0
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	33.3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	33.3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0.0
無回答	33.3
合計	100.0

★問6で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。

問6-3 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する
□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

「3」に○をつけた方はご回答ください

「3」に○をつけた方はご回答ください

【母親】

	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	23.4
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	31.9
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	38.3
無回答	6.4
合計	100.0

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	22.2
パートタイム、アルバイト等	77.8
合計	100.0

【父親】

	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0.0
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	100.0
無回答	0.0
合計	100.0

	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	100.0
パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	0.0
合計	100.0

☆みなさんにうかがいます。

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問7【現状について】 お子さんは、ふだん、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時

※ 学童保育(放課後児童クラブ): 放課後等、就労などにより昼間家庭に保護者のいないお子さん(原則として小学校1～6年生)を対象に、支援員の支援の下で遊びや生活の場を提供します。ご利用には一定の利用料がかかります。

	%
自宅	70.4
祖父母宅や友人・知人宅	16.4
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	35.4
学童保育(放課後児童クラブ)	31.8
部活動	0.4
その他(公民館、公園など)	10.2

①自宅

	%
週1日くらい	7.8
週2日くらい	12.4
週3日くらい	16.6
週4日くらい	10.4
週5日くらい	45.6
無回答	7.3
合計	100.0

②祖父母宅や友人・知人宅

	%
週1日くらい	28.9
週2日くらい	31.1
週3日くらい	13.3
週4日くらい	6.7
週5日くらい	15.6
無回答	4.4
合計	100.0

③習い事

	%
週1日くらい	25.8
週2日くらい	36.1
週3日くらい	23.7
週4日くらい	8.2
週5日くらい	6.2
合計	100.0

④学童保育

	%
週1日くらい	1.1
週2日くらい	5.7
週3日くらい	10.3
週4日くらい	12.6
週5日くらい	65.5
無回答	4.6
合計	100.0

⑤学童保育の利用時間

	%
下校時から15時30分まで	2.3
下校時から16時まで	12.6
下校時から16時30分まで	6.9
下校時から17時まで	26.4
下校時から17時30分まで	13.8
下校時から18時まで	26.4
無回答	11.5
合計	100.0

⑥部活動

	%
週1日くらい	100.0

⑦その他(公民館、公園など)

	%
無回答	100.0

★問7で「6. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問7-1 学童保育が終わったあとは、どのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。

	%
自宅	93.1
祖父母宅や友人・知人宅	13.8
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	29.9
部活動	0.0
その他(公民館、公園など)	0.0

① 自宅

	%
週1日くらい	3.7
週2日くらい	11.1
週3日くらい	7.4
週4日くらい	9.9
週5日くらい	49.4
無回答	18.5
合計	100.0

② 祖父母宅や友人・知人宅

	%
週1日くらい	25.0
週2日くらい	8.3
週3日くらい	25.0
週5日くらい	33.3
無回答	8.3
合計	100.0

③ 習い事

	%
週1日くらい	19.2
週2日くらい	61.5
週3日くらい	7.7
週4日くらい	3.8
無回答	7.7
合計	100.0

問8 【希望について】 宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育（放課後児童クラブ）」と「ファミリー・サポート・センター」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

※ ファミリー・サポート・センター：会員登録した地域住民が、その自宅でお子さんを預かるサービスです。預かる会員と預ける会員による相互援助活動です。ご利用には一定の利用料がかかります。

※ 放課後こども教室：地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用できます。

	%
自宅	74.5
祖父母宅や友人・知人宅	17.2
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	48.9
児童館	6.2
放課後こども教室	26.6
学童保育（放課後児童クラブ）	23.4
ファミリー・サポート・センター	4.7
部活動	8.8
その他（公民館、公園など）	12.0

①【希望】自宅

	%
週1日くらい	5.9
週2日くらい	16.2
週3日くらい	14.7
週4日くらい	8.3
週5日くらい	34.3
無回答	20.6
合計	100.0

②【希望】祖父母宅や友人・知人宅

	%
週1日くらい	40.4
週2日くらい	19.1
週3日くらい	10.6
週4日くらい	0.0
週5日くらい	10.6
無回答	19.1
合計	100.0

③【希望】習い事

	%
週1日くらい	23.1
週2日くらい	38.1
週3日くらい	17.9
週4日くらい	1.5
週5日くらい	3.0
無回答	16.4
合計	100.0

④【希望】児童館

	%
週1日くらい	35.3
週2日くらい	23.5
週3日くらい	5.9
週4日くらい	0.0
週5日くらい	5.9
無回答	29.4
合計	100.0

⑤【希望】放課後こども教室

	%
週1日くらい	26.0
週2日くらい	27.4
週3日くらい	11.0
週4日くらい	0.0
週5日くらい	8.2
無回答	27.4
合計	100.0

⑥【希望】学童保育

	%
週1日くらい	6.3
週2日くらい	18.8
週3日くらい	17.2
週4日くらい	9.4
週5日くらい	23.4
無回答	25.0
合計	100.0

⑦【希望】ファミリー・サポート・センター

	%
週1日くらい	23.1
週2日くらい	15.4
週3日くらい	7.7
週4日くらい	0.0
週5日くらい	15.4
無回答	38.5
合計	100.0

⑧【希望】部活動

	%
週1日くらい	20.8
週2日くらい	20.8
週3日くらい	12.5
週4日くらい	0.0
週5日くらい	4.2
無回答	41.7
合計	100.0

⑨【希望】その他

	%
週1日くらい	15.2
週2日くらい	30.3
週3日くらい	12.1
週4日くらい	3.0
週5日くらい	6.1
無回答	33.3
合計	100.0

問9 お子さんについて、学童保育の利用希望はありますか。サービスの利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時 のように24時間制でご記入ください。

	%
低学年(1～3年生)の間は利用したい	21.2
高学年(4～6年生)になっても利用したい	19.7
利用する必要はない	59.1
合計	100.0

平日の利用希望

	%
18時まで	40.2
18時30分まで	8.9
19時まで	17.0
19時30分まで	1.8
20時まで	1.8
無回答	30.4
合計	100.0

土曜日及び長期休暇の希望利用開始時間

	%
07時から	4.5
08時から	62.5
08時30分から	5.4
09時から	6.3
09時30分から	0.9
10時から	0.9
14時から	0.9
15時から	1.8
無回答	17.0
合計	100.0

土曜日及び長期休暇の希望利用終了時間

	%
16時まで	4.5
16時30分まで	0.9
17時まで	11.6
17時30分まで	2.7
18時まで	56.3
18時30分まで	0.9
19時まで	4.5
20時まで	0.9
21時以降	0.9
無回答	17.0
合計	100.0

問 10 お子さんの平日及び長期休暇時の学童保育の開所延長希望はありますか。サービスの利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内にご記入ください。

※ 現在、中間市の学童保育は、平日は学校終了時から18時まで、土曜日及び長期休暇は8時30分から18時までとなっています。

<平日>

	%
ぜひ延長してもらいたい	21.5
どちらかといえば延長してもらいたい	15.0
延長する必要はない	63.5
合計	100.0

	%
学校終了時から18時	17.0
学校終了時から19時	61.0
学校終了時から20時	3.0
学校終了時から21時	3.0
無回答	16.0
合計	100.0

<土曜日・長期休暇>

	%
ぜひ延長してもらいたい	21.5
どちらかといえば延長してもらいたい	14.6
延長する必要はない	63.9
合計	100.0

土曜日・長期休暇利用したい開始時間

	%
06時から	1.0
06時30分から	1.0
07時から	22.2
07時30分から	29.3
08時から	30.3
08時30分から	4.0
09時から	1.0
無回答	11.1
合計	100.0

土曜日・長期休暇利用したい終了時間

	%
17時まで	2.0
18時まで	11.1
18時30分まで	16.2
19時まで	49.5
19時30分まで	2.0
20時まで	2.0
21時まで	2.0
21時以降	1.0
無回答	14.1
合計	100.0

★学童保育を利用している方にうかがいます。

問 11 現在、利用している学童保育にどの程度満足度されていますか。あなたの気持ちに近い番号に1つ○をつけてください。

	%
とても満足	9.2
まあ満足	35.6
普通	31.0
少し不満	16.1
とても不満	6.9
無回答	1.1
合計	100.0

★問 12 の満足度で回答された理由にうかがいます。

問 13 学童保育の満足な点と不満な点をおうかがいします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<満足な点>

	%
安心して預けることができる	62.1
職員や内容の質がよい	27.6
利便性(利用時間、日数など)がよい	26.4
家の近くにある	36.8
利用料がちょうどよい	16.1
手続きがわかりやすい	3.4
利用したいときに利用できる	39.1
その他	2.3

<不満な点>

	%
他人に預けるのは不安	2.3
職員や内容の質に不安がある	21.8
利便性(利用時間、日数など)がよくない	17.2
近くにない(遠い)	2.3
利用料がかかる・高い	34.5
手続きがわずらわしい	8.0
利用したいときに利用できない	2.3
その他	10.3

☆みなさんにうかがいます。

問 13 学童保育において夏季など長期休暇中に食事が提供された場合、あなたは利用されますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したいと回答された方は、その利用頻度と食材費をいくらくらいだったら負担できますか。当てはまる番号に1つ○をつけてください。

	%
ぜひ利用したい	54.4
どちらかといえば利用したい	26.3
利用しない	19.3
合計	100.0

利用したい頻度

	%
週1日くらい	3.2
週2日くらい	11.8
週3日くらい	27.6
週4日くらい	5.9
週5日くらい	48.0
無回答	3.6
合計	100.0

妥当と思う食材費

	%
100円くらい	0.5
150円くらい	0.5
200円くらい	4.1
250円くらい	2.7
300円くらい	40.3
350円くらい	3.2
400円くらい	25.3
450円くらい	1.8
500円くらい	15.8
600円くらい	2.3
無回答	3.6
合計	100.0

問 14 子育てをする中で、どのような支援・対策が必要だと感じていますか。当てはまる番号にいくつでも
○をつけてください。

	%
経済的負担の軽減(子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など)	84.3
妊娠・出産・産後ケアに対する支援	27.7
保育・幼児サービスの充実	40.9
小中学期における教育環境の充実	62.8
子育てに関する相談や情報を得ることができる場づくり	21.2
育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進	41.6
男女がともに子育てを担う社会の意識づくり	33.2
家事負担の軽減	35.4
子どもが安全・安心に遊べる場の整備	73.7
安心して医療機関にかかれる体制の整備(小児救急や夜間小児診療など)	58.4
子育てを地域全体で支え合う仕組みづくり	31.4
安全な道路や公共施設などの整備、自然環境の保護	53.3
特別な支援を必要とする児童への支援(障がい、DV被害、生活困窮など)	36.9
子育てしやすい住まいの整備に対する支援	46.7

問 15 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号に1つ○をつけてください。

	%
とても満足	6.9
まあ満足	14.6
普通	52.6
少し不満	18.6
とても不満	7.3
合計	100

★ここから先の質問は、小学5年生と小学6年生の保護者の方にうかがいます。

※ 小学5年生と6年生のお子さんが複数おられる場合は、年齢が一番下のお子さんについて回答してください。

子育ての環境や生活状況についてうかがいます。

問 16 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
父母ともに	41.8
主に母親	54.5
主に父親	0.0
主に祖父母	1.8
その他	0.0
無回答	1.8
合計	100.0

問 17 あなたのご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
日本語のみ	100.0
日本語以外も使用するが、日本語の方が 多い	0.0
日本語以外の言語を使うことが多い	0.0
合計	100.0

問 18 あなたとお子さんとのかかわり方についてお答えください。①～⑥それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	合 計	あ て は ま る	あ ど ち ら は ま る い え ば	あ ど ち ら は ま ら な い え ば	あ て は ま ら な い	無 回 答
①子どものテレビ・ゲーム・インターネットの利用について、利用時間などのルールを決めている	55	15	28	7	5	0
	100.0	27.3	50.9	12.7	9.1	0.0
②子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた	55	29	15	9	2	0
	100.0	52.7	27.3	16.4	3.6	0.0
③子どもと勉強や成績のことについて話をする	55	27	21	6	1	0
	100.0	49.1	38.2	10.9	1.8	0.0
④子どもと学校での出来事について話をする	55	43	11	0	0	1
	100.0	78.2	20.0	0.0	0.0	1.8
⑤子どもと友だちのことについて話をする	55	37	18	0	0	0
	100.0	67.3	32.7	0.0	0.0	0.0
⑥子どもと将来や進路について話をする	55	28	22	4	1	0
	100.0	50.9	40.0	7.3	1.8	0.0
⑦子どもと社会の出来事やニュースについて話をする	55	22	26	4	2	1
	100.0	40.0	47.3	7.3	3.6	1.8

問 19 あなたの就労状況についてお答えください。配偶者（またはパートナー）がいる場合は、その方についてもお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（あなた）

	%
正社員・正規職員・会社役員	38.2
嘱託・契約社員・派遣職員	1.8
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	41.8
自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）	9.1
家事専業（専業主婦・主夫）	9.1
無職	0.0
わからない・答えたくない	0.0
合計	100.0

(配偶者またはパートナー)

	%
正社員・正規職員・会社役員	75.5
嘱託・契約社員・派遣職員	
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	4.1
自営業(家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む)	18.4
家事専業(専業主婦・主夫)	0.0
無職	2.0
わからない・答えたくない	0.0
合計	100.0

問 20 世帯全体の年間収入(会社員等の場合は、1年間の給与の総支給額(額面)は、おおよそいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 同居し、生計を同一にしている家族全員の直近の合算額をわかる範囲でお答えください。

	%
100万円未満	0.0
100万円～200万円未満	5.5
200万円から300万円未満	9.1
300万円から500万円未満	21.8
500万円から800万円未満	29.1
800万円から1000万円未満	18.2
1000万円以上	1.8
わからない・答えたくない	12.7
無回答	1.8
合計	100.0

問 21 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
食材を買えなかった	5.5
医療機関の受診を控えた	10.9
家賃や光熱水道費、もしくは税金や保育料、学費等の支払いが遅れた	16.4
衣服などを買えなかった(高価な衣服や貴金属、宝飾品を除く)	9.1
借金をした	16.4
貯金がなくなった	23.6
わからない、答えたくない	7.3
あてはまるものはない	61.8

問 22 あなたの世帯では、お子さんが希望したにもかかわらず、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

※ おおむね直近1年の間でお答えください。

	%
学用品を買えなかった	3.6
遠足や修学旅行に参加できなかった	1.8
学習塾や習い事に通えなかった	10.9
部活動、クラブ活動に参加できなかった	1.8
誕生日や正月などのお祝いができなかった	5.5
家族旅行ができなかった	18.2
病院の受診ができなかった	3.6
わからない、答えたくない	3.6
あてはまるものはない	63.6

問 23 お子さんの教育にかかる費用で、負担が大きいと感じているものがありますか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
学用品	21.8
学校給食費	25.5
修学旅行費	21.8
部活動、クラブ活動費	3.6
習い事の費用	40.0
学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信教育の費用)	43.6
負担が大きいと感じているものはない	16.4
その他	1.8

子育てに係る相談先や支援策への考えについてうかがいます。

問 24 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
(お子さんから見た)祖父母等の親族	48.2
友人や知人、近所の人	31.0
学校の先生	10.6
市の子育て関連窓口	0.7
子育て支援施設(くるり広場等)やNPO	1.5
塾や習い事の先生	3.6
民生委員・児童委員	0.0
かかりつけの医師	3.3
いない	6.9
その他	1.5

問 25 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
親族	35.8
友人や知人、近所の人	56.6
保育所・認定こども園・幼稚園・学校	31.8
市の窓口	3.6
市の広報紙やパンフレット・チラシ等	21.9
市HPや市公式SNS(LINE等)	8.0
テレビ、ラジオ、新聞	15.3
子育て雑誌・育児書・コミュニティー誌	6.9
ポスターなどの掲示物	6.6
インターネット(SNSを含む)	42.7
その他	0.4

問 26 子育てをする中で、どのような支援・対策が必要だと感じていますか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
経済的負担の軽減(子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など)	74.1
妊娠・出産・産後ケアに対する支援	19.0
保育・幼児サービスの充実	33.6
小中学期における教育環境の充実	52.9
子育てに関する相談や情報を得ることができる場づくり	23.7
育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進	32.8
男女がともに子育てを担う社会の意識づくり	29.2
家事負担の軽減(ヘルパー、ベビーシッターなどの育児支援サービスの充実など)	25.5
子どもが安全・安心に遊べる場の整備	58.8
安心して医療機関にかかる体制の整備(小児救急や夜間小児診療など)	45.3
子育てを地域全体で支え合う仕組みづくり	25.2
安全な道路や公共施設などの整備、自然環境の保護	38.7
特別な支援を必要とする児童への支援(障がい、DV被害、生活困窮など)	28.8
子育てしやすい住まいの整備に対する支援	35.4
その他	1.1

問 27 中間市内に、あったらいいなと思うこと、または自分も参加したい・利用したいと思うことは何ですか。
 当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
子育てに係る悩みを気軽に相談できる場 や機会	14.2
子ども向けや子どもと一緒に参加できるイ ベント	38.0
子どもを遊ばせることができる場	64.2
子どもが利用できる習い事	52.9
気軽に子どもを預けることができる場	32.1
子どもを連れて行きやすい店	42.7
同世代や先輩保護者と話せたり、経験談 を聞けたりする場や機会	11.7
市内の子育て情報を知ることができるイン ターネットサイトやアプリ	16.1
特にない	3.6
その他	2.2

お子さんやあなたの、家庭以外での活動等についてうかがいます。

問 28 お子さんにどのような活動に参加させたいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてく
 ださい。

	%
スポーツ活動	67.5
文化・芸術活動	39.8
ボランティア活動	25.5
ものづくりなど体験学習活動	56.6
キャンプなどの野外活動	36.1
高齢者訪問などの社会福祉活動	12.8
ホームステイなどの国際交流や多文化共 生に関する活動	28.5
子ども会活動	14.2
自然観察などの環境教育活動	26.3
お祭りなどの地域に根ざした活動	38.3
仕事・職業体験	50.0
参加させたいと思わない	0.4
その他	0.4

問 29 あなた自身は、どのような活動なら参加してみたいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
スポーツ活動	36.5
文化・芸術活動	27.7
ボランティア活動	22.6
ものづくりなど体験学習活動	41.2
キャンプなどの野外活動	24.5
高齢者訪問などの社会福祉活動	10.9
ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動	19.7
子ども会活動	10.9
自然観察などの環境教育活動	19.0
お祭りなどの地域に根ざした活動	35.0
仕事・職業体験	28.1
参加したいと思わない	11.3
その他	0.7

中間市の取組や印象などについてうかがいます。

問 30 子どもの権利があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められています。

	%
知っている	62.4
知らない	27.4
無回答	10.2
合計	100.0

問 31 「中間市子どもを守る条例」が制定されていることを知っていますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
知っている	19.0
知らない	70.4
無回答	10.6
合計	100.0

問 32 中間市は子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
そう思う	1.8
どちらかというと思う	26.3
どちらかというと思わない	29.2
そう思わない	21.5
わからない	11.3
無回答	9.9
合計	100.0

問 33 あなたは、中間市に今後も住み続けたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ずっと中間市に住み続けたい	9.9
できれば中間市に住み続けたい	34.7
できれば中間市に住みたくない	12.8
中間市に住みたくない	7.3
一度は中間市を出たいが、将来は中間市に住みたい	0.7
わからない	24.5
無回答	10.2
合計	100.0

中学生の保護者対象

中間市こどもの生活に関する意識調査

有効回答数・・・122 票

配布数 ・・・962 票

有効回収率・・・12.7%

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 現在お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
 （お住まいの小学校区が分からない場合は、お住まいの町名をご記入ください。）

	%
中間	7.4
中間東	35.2
中間西	11.5
中間南	27.0
中間北	10.7
底井野	7.4
校区がわからない	0.8
合計	100.0

あなたのことについてうかがいます。

問2 宛名のお子さん学年をお聞きます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中学1年生	49.2
中学2年生	23.0
中学3年生	27.9
合計	100.0

問3 問2のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

	%
1人	21.3
2人	42.6
3人	25.4
4人	7.4
5人	1.6
6人以上	1.6
合計	100.0

問4 お子さんから見たあなたの続柄(関係)をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
母	92.6
父	6.6
その他	0.8
合計	100.0

問5 あなたには配偶者(またはパートナー※)がいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※配偶者と同じように、長い期間にわたり共有する価値や目標、同じライフスタイルを共有する相手(以降の設問でも同様)

	%
いる	85.2
いない	14.8
合計	100.0

問6 現在、お子さん以外であなたと一緒に暮らしている人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
配偶者(またはパートナー)	77.9
実父母	7.4
義父母	4.1
自分や配偶者(またはパートナー)の兄弟、姉妹	0.8
いない	14.8
答えたくない	0.8
その他	0.8

子育ての環境や生活状況についてうかがいます。

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
父母ともに	56.6
主に母親	39.3
主に父親	0.8
主に祖父母	1.6
その他	1.6
合計	100.0

問8 あなたのご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
日本語のみ	98.4
日本語以外も使用するが、日本語の方が多い	1.6
日本語以外の言語を使うことが多い	0.0
合計	100.0

問9 あなたとお子さんとのかわり方についてお答えください。①～⑦それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	合計	あてはまる	あどち はら まとい え ば	あどち はら まか らと ない え ば	あて はま らない
①子どものスマートフォン・テレビ・ゲーム・インターネットの利用について、利用時間などのルールを決めている	122	29	52	30	11
	100.0	23.8	42.6	24.6	9.0
②子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた	122	53	40	22	7
	100.0	43.4	32.8	18.0	5.7
③子どもと勉強や成績のことについて話をする	122	81	36	3	2
	100.0	66.4	29.5	2.5	1.6
④子どもと学校での出来事について話をする	122	75	37	8	2
	100.0	61.5	30.3	6.6	1.6
⑤子どもと友だちのことについて話をする	122	61	52	6	3
	100.0	50.0	42.6	4.9	2.5
⑥子どもと将来や進路について話をする	122	61	52	7	2
	100.0	50.0	42.6	5.7	1.6
⑦子どもと社会の出来事やニュースについて話をする	122	42	64	13	3
	100.0	34.4	52.5	10.7	2.5

問 10 あなたの就労状況についてお答えください。配偶者(またはパートナー)がいる場合は、その方についてもお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(あなた)

	%
正社員・正規職員・会社役員	34.4
嘱託・契約社員・派遣職員	5.7
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	37.7
自営業(家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む)	5.7
家事専業(専業主婦・主夫)	13.9
無職	1.6
わからない・答えたくない	0.8
合計	100.0

(配偶者またはパートナー)

	%
正社員・正規職員・会社役員	83.7
嘱託・契約社員・派遣職員	1.0
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	1.9
自営業(家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む)	6.7
家事専業(専業主婦・主夫)	1.0
無職	3.8
わからない・答えたくない	1.9
合計	100.0

問11 世帯全体の年間収入(会社員等の場合は、1年間の給与の総支給額(額面)は、おおよそいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 同居し、生計を同一にしている家族全員の直近の合算額をわかる範囲でお答えください。

	%
100万円未満	0.8
100万円～200万円未満	1.6
200万円から300万円未満	10.7
300万円から500万円未満	23.0
500万円から800万円未満	28.7
800万円から1000万円未満	10.7
1000万円以上	10.7
わからない・答えたくない	13.9
合計	100.0

問 12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。
 当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
食材を買えなかった	11.5
医療機関の受診を控えた	14.8
家賃や光熱水道費、もしくは税金や保育料、学費等の支払いが遅れた	18.0
衣服などを買えなかった(高価な衣服や貴金属、宝飾品を除く)	10.7
借金をした	11.5
貯金がなくなった	27.0
わからない、答えたくない	10.7
あてはまるものはない	52.5

問 13 あなたの世帯では、お子さんが希望したにもかかわらず、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

※ おおむね直近1年の間でお答えください。

	%
学用品を買えなかった	0.8
遠足や修学旅行に参加できなかった	0.0
学習塾や習い事に通えなかった	15.6
部活動、クラブ活動に参加できなかった	3.3
誕生日や正月などのお祝いができなかった	4.9
家族旅行ができなかった	30.3
病院の受診ができなかった	2.5
わからない、答えたくない	7.4
あてはまるものはない	57.4

問 14 お子さんの教育にかかる費用で、負担が大きいと感じているものがありますか。
 当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
学用品	27.9
学校給食費	25.4
修学旅行費	27.9
部活動、クラブ活動費	23.0
習い事の費用	36.9
学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信教育の費用)	45.1
負担が大きいと感じているものはない	15.6
その他	0.8

子育てに係る相談先や支援策への考えについてうかがいます。

問 15 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。

当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
(お子さんから見た)祖父母等の親族	52.5
友人や知人、近所の人	43.4
学校の先生	13.1
市の子育て関連窓口	0.8
子育て支援施設(くるり広場等)やNPO	1.6
塾や習い事の先生	1.6
民生委員・児童委員	0.0
かかりつけの医師	0.8
いない	13.1
その他	3.3

問 16 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
親族	32.0
友人や知人、近所の人	68.0
保育所・認定こども園・幼稚園・学校	18.0
市の窓口	3.3
市の広報紙やパンフレット・チラシ等	23.0
市HPや市公式SNS(LINE等)	7.4
テレビ、ラジオ、新聞	23.0
子育て雑誌・育児書・コミュニティー誌	4.9
ポスターなどの掲示物	3.3
インターネット(SNSを含む)	48.4
その他	3.3

問 17 子育てをする中で、どのような支援・対策が必要だと感じていますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
経済的負担の軽減(子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など)	76.2
妊娠・出産・産後ケアに対する支援	26.2
保育・幼児サービスの充実	25.4
小中学期における教育環境の充実	54.9
子育てに関する相談や情報を得ることができる場づくり	18.9
育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進	41.8
男女がともに子育てを担う社会の意識づくり	36.1
家事負担の軽減(ヘルパー、ベビーシッターなどの育児支援サービスの充実など)	23.8
子どもが安全・安心に遊べる場の整備	62.3
安心して医療機関にかかれる体制の整備(小児救急や夜間小児診療など)	50.8
子育てを地域全体で支え合う仕組みづくり	27.0
安全な道路や公共施設などの整備、自然環境の保護	45.1
特別な支援を必要とする児童への支援(障がい、DV被害、生活困窮など)	34.4
子育てしやすい住まいの整備に対する支援	37.7
その他	4.1

問 18 中間市にもっと欲しい、自分も参加したい・利用したいと思うことは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
子育てに係る悩みを気軽に相談できる場	13.1
子ども向けや子どもと一緒に参加できるイベント	23.0
子どもを遊ばせることができる場	51.6
子どもが利用できる習い事	47.5
気軽に子どもを預けることができる場	27.9
子どもを連れて行きやすい店	41.0
同世代や先輩保護者と話せたり、経験談を聞けたりする場や機会	8.2
市内の子育て情報を知ることができるインターネットサイトやアプリ	17.2
特になし	10.7
その他	4.9

お子さんやあなたの、家庭以外での活動等についてうかがいます。

問 19 お子さんにどのような活動に参加させたいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
スポーツ活動	63.9
文化・芸術活動	39.3
ボランティア活動	37.7
ものづくりなど体験学習活動	46.7
キャンプなどの野外活動	32.0
高齢者訪問などの社会福祉活動	22.1
ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動	36.1
子ども会活動	7.4
自然観察などの環境教育活動	23.8
お祭りなどの地域に根ざした活動	38.5
仕事・職業体験	63.9
参加させたいと思わない	1.6
その他	0.8

問 20 中間市内に、あったらいいなと思うこと、または自分も参加したい・利用したいと思うことは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
スポーツ活動	39.3
文化・芸術活動	33.6
ボランティア活動	29.5
ものづくりなど体験学習活動	42.6
キャンプなどの野外活動	27.0
高齢者訪問などの社会福祉活動	14.8
ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動	28.7
子ども会活動	6.6
自然観察などの環境教育活動	18.9
お祭りなどの地域に根ざした活動	37.7
仕事・職業体験	47.5
参加したいと思わない	6.6
その他	0.0

中間市の取組や印象などについてうかがいます。

問 21 子どもの権利があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められています。

	%
知っている	67.2
知らない	32.8
合計	100.0

問 22 「中間市子どもを守る条例」が制定されていることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
知っている	21.3
知らない	78.7
合計	100.0

問 23 中間市は子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
そう思う	3.3
どちらかというと思う	38.5
どちらかというと思わない	28.7
そう思わない	16.4
わからない	13.1
合計	100.0

問 24 あなたが、今後も中間市に今後も住み続けることについて伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ずっと中間市に住み続けたい	17.2
できれば中間市に住み続けたい	36.1
できれば中間市に住みたくない	14.8
中間市に住みたくない	3.3
一度は中間市を出たいが、将来は中間市に住みたい	0.8
わからない	27.9
合計	100.0

15 歳から 39 歳市民対象

中間市若者の生活に関する意識調査

有効回答数・・・324 票

配布数・・・1,990 票

有効回収率・・・16.3%

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 現在お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (お住まいの小学校区が分からない場合は、お住まいの町名をご記入ください。)

	%
中間	14.5
中間東	18.2
中間西	11.4
中間南	20.4
中間北	15.1
底井野	8.3
校区がわからない	12.0
合計	100.0

あなたのことについてうかがいます。

問2 あなたの年齢(令和6年8月1日現在)をお答えください。

	%
～19歳	12.7
20歳～24歳	19.4
25歳～29歳	23.8
30歳～34歳	19.1
35歳～39歳	25.0
合計	100.0

問3 あなたが思う自分の性別をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
女性	61.4
男性	36.4
その他(わからない・答えたくない)	2.2
合計	100.0

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	%
母	43.5
父	35.2
姉妹・兄弟	22.2
祖父母	9.3
配偶者(またはパートナー※)	39.8
娘・息子	32.1
友人・ルームメイト	1.2
恋人	3.1
同居している人はいない(一人暮らし)	5.2
その他	1.2

※配偶者と同じように、長い期間にわたり共有する価値や目標、同じライフスタイルを共有する相手(以降の設問でも同様)

問5 あなたの現在の主な職業についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中学生、高校生、高専生	8.6
学生(大学、大学院、短大、専門学校、予備校など)	9.0
正社員・正規職員	44.4
契約社員・派遣社員	4.9
パート・アルバイト(学生のアルバイトは除く)	14.5
自営業	2.8
自由業	0.0
経営者	0.9
家事専業(専業主婦・主夫)	7.7
無職	5.6
その他	1.2
無回答	0.3
合計	100.0

問6 あなたが最後に在学していた学校はどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
中学校・支援学校(中等部)	4.9
高等学校・支援学校(高等部)	35.5
高等専門学校	4.9
専門学校、短期大学	25.6
4年生大学	26.5
大学院	2.5
その他	0.0
合計	100.0

問7 あなたが働く(就職されていない場合は、将来働くであろう時の)目的は何ですか。当てはまる番号にいくつでも〇をつけてください。

	%
生活のため	91.0
自分自身を成長させるため	25.3
自分の才能や能力を活かすため	18.5
社会に貢献するため	13.9
やりがいや生きがいを得るため	27.2
経済的・社会的な自立のため	38.9
新しい仲間や人に出会うため	13.9
その他	0.3

問8 あなたの就職に対する考え方について、お答えください。当てはまる番号にいくつでも〇をつけてください。

	%
仕事は生活のために必要なこと	84.0
学校を卒業したら早く就職すべき	11.7
収入や地位が高い仕事がよい	22.5
収入や仕事よりもやりがいが大事	21.0
働く時間が長くても高収入の方がよい	13.9
低収入でも働く時間が短い方がよい	14.5
能力や実績に応じて地位や給与が決められる方がよい	34.3
転職せずに同じ仕事を続ける方がよい	10.8
自分に合う仕事を求めて転職する方がよい	43.8
就職ではなく、起業したい	5.2
無理して仕事をする必要はない	19.4
わからない	2.5
その他	0.6

あなたの居場所や悩んだ時の相談先についてうかがいます。

問9 あなたは、学校や仕事以外にどのような活動に参加していますか。または参加したいと思いますか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
スポーツ活動	22.8
文化・芸術活動	12.0
祭・運動会など地域のイベント	11.1
緑化・植栽やゴミ拾いなど街をきれいにする活動	5.2
高齢者や障がいのある人などのための活動	3.1
子どもや青少年育成のための活動	7.4
地域の防犯・防災のための活動	1.5
自治会、成年団体などの係や役員活動	1.2
インターネット空間でのコミュニティ活動	10.8
何も参加していない(したいと思わない)	53.1
その他	0.9

問10 今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所)となっているのはどこですか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
自分の部屋	56.8
自分の家(部屋以外)	72.5
親せきの家	5.2
学校	4.6
塾など習い事の場所	0.9
友だちの家	6.5
地域(公民館など)	0.3
公共施設(図書館や公園など)	4.0
民間施設(商業施設など)	2.2
インターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)	12.7
居場所はない	0.9
その他	2.8

問 11 あなたが、悩みがある時に家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所・方法から相談したいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
同じ悩みを持っている(持っていた)人	48.8
同世代の人	43.8
同性の人	16.0
匿名で相談できる場所や方法	19.8
電話での相談	6.2
SNSやメールなどでの相談	20.7
曜日や時間を気にしないでよい場所や方法	16.0
自宅から近い場所	8.6
自宅に来てくれる方法	3.1
公的な支援機関	5.2
民間の支援団体(NPOなど)	3.1
医師・医療機関	9.0
カウンセラー等の心理学の専門家	15.1
誰にも相談したくない	13.0
その他	0.9

問 12 あなたは、こども・若者を対象とした次の相談窓口(機関や事業)を知っていますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
若者サポートステーション	2.8
若まど(福岡県若者自立相談窓口)	0.3
福岡県若者就職支援センター	10.5
ハローワーク	58.3
中間市社会福祉協議会	16.7
民生委員・児童委員	15.4
どれも知らない	38.0
その他	0.0

あなたの結婚や子をもつことに対するお考えについてうかがいます。

問 13 あなたの理想とする生き方についてお答えください。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
経済的に豊かになること	66.0
社会的な地位を得ること	8.6
自分の好きなように暮らすこと	71.0
社会のために役立つこと	14.8
家庭を築いて幸せに暮らすこと	56.5
わからない	4.3
その他	0.6

問 14 あなたは現在、結婚されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※パートナー、パートナーシップ関係(同性同士で結婚に相当する関係)や内縁関係も含みます。

	%
結婚している	39.2
結婚したことはあるが、今はそうではない (離婚または死別した)	6.2
結婚したことがない	54.6
合計	100.0

問 15 あなたにはお子さんがいますか。お子さんがおられる場合は現在の子どもの人数を記入してください。

	%
いる	35.5
いない	64.5
合計	100.0

	%
1人	34.8
2人	42.6
3人	16.5
4人	5.2
5人	0.0
6人以上	0.9
合計	100.0

問 16 あなたが思っている理想的な子どもの人数をおうかがいします。理想的な子どもの人数を口内に記入してください。

※お子さんがいない方も、理想的と思うお子さんの人数をお答えください。

	%
0人	8.3
1人	8.6
2人	46.3
3人	31.5
4人	4.0
5人	0.6
6人以上	0.6
合計	100.0

問 17 あなたは、将来的に自分の子どもが欲しいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※すでにお子さんがいる方は、次の子どもが欲しいと思いますか。

	%
思う	58.3
思わない	19.4
わからない	22.2
合計	100.0

「ヤングケアラー・若者ケアラー」についてうかがいます。

問 18 あなたは、今までに「ヤングケアラー」や「若者ケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている 18 歳未満のこどものことです。障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしています。

また、同様の状況の 18 歳からおおむね 30 代までを「若者ケアラー」と言います。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあり、子どもの権利が守られていない可能性があり、社会の理解と支援が必要です。

	%
聞いたことがあります、内容も知っている	46.0
聞いたことはあるが、よく知らない	21.6
聞いたことはない	32.4
合計	100.0

問 19 あなたは、「ヤングケアラー」または「若者ケアラー」にあてはまりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
現在、ヤングケアラーもしくは若者ケアラーである	3.1
かつてはそうだったが、今はそうではないと思う	6.8
かつても、今もそうだと思わない	90.1
合計	100.0

問 20 あなたが中心となって、お世話をしている家族はいますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
自分が中心となってお世話をしている家族はいない	88.0
お母さん	4.0
お父さん	2.5
姉や兄	0.9
妹や弟	0.6
おばあさん	2.8
おじいさん	0.6
おば・おじ	0.0
その他	4.6

★問 21～問 24 は、中心となってお世話をしている家族がいる人
(問 20 で「1.」以外の回答をした人)だけお答えください。

問 21 あなたは、どのようなお世話をしていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家事(食事の準備、掃除、洗濯など)	56.4
きょうだいのお世話や送り迎え	20.5
入浴やトイレのお世話	30.8
買い物や散歩に一緒に行く	48.7
病院に一緒に行く	56.4
話を聞く	51.3
見守り	46.2
通訳(日本語や手話など)	0.0
お金の管理	23.1
薬の管理	23.1
その他	10.3

問 22 あなたは、どのくらいお世話をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ほとんど毎日	53.8
週に3～5日	10.3
週に1～2日	10.3
1か月に数日	10.3
その他	2.6
無回答	12.8
合計	100.0

問 23 あなたは平日、だいたい何時間くらいお世話をしていますか。

	%
1時間くらい	15.4
2時間くらい	12.8
3時間くらい	5.1
4時間くらい	5.1
5時間くらい	17.9
6時間くらい	2.6
7時間くらい	2.6
8時間くらい	7.7
10時間くらい	2.6
17時間くらい	2.6
20時間くらい	5.1
21時間くらい	2.6
24時間くらい	5.1
無回答	12.8
合計	100.0

問 24 あなたはお世話をしている中でどのようなことを思われていますか。あてはまる番号ぜんぶに○をつけてください。

	%
家族の役に立ててうれしい	25.6
周りの人にほめられてうれしい	5.1
家事が一人でできるようになってよかった	12.8
将来は人の世話をする仕事につきたい	5.1
もっと友だちと遊ぶ時間がほしい	12.8
もっと勉強や仕事をする時間がほしい	10.3
もっと寝る時間がほしい	20.5
特にない	33.3
その他	10.3

中間市の取組や印象などについてうかがいます。

問 25 子どもの権利があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められています。

	%
知っている	68.8
知らない	31.2
合計	100.0

問 26 「中間市子どもを守る条例」が制定されたことを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
知っている	9.0
知らない	91.0
合計	100.0

問 27 子どもや若者の声(意見や悩みなど)を聴くにあたって、どのような方法であれば、自分も参加したいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	%
アンケート	48.5
SNSやメール	50.0
直接伝えることができる場で話す	16.7
友だちや大人と意見や悩みを話し合うことができる場で話す	17.6
わからない	19.8
その他	1.2

問 28 中間市は子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
そう思う	4.9
どちらかというと思う	28.7
どちらかというと思わない	19.1
そう思わない	19.1
わからない	28.1
合計	100.0

問 29 あなたが、中間市に今後も住み続けることについて伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	%
ずっと中間市に住み続けたい	8.3
できれば中間市に住み続けたい	32.4
できれば中間市に住みたくない	17.9
絶対、中間市に住みたくない	3.4
一度は中間市を出たいが、将来は中間市に住みたい	5.2
わからない	32.7
合計	100.0

中間市 こども計画策定に関する サービス提供事業者意向調査

有効回答票・・・12 事業所

1 貴事業所の概要について

問1 貴事業所で提供している子育て支援サービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	%
幼稚園	33.3
幼稚園の預かり保育	25.0
認可保育所	33.3
事業所内保育施設	0.0
企業主導型保育	8.3
その他の認可外の保育施設	0.0
小規模な保育施設	8.3
認定こども園	16.7
家庭的保育	0.0
居宅訪問型保育	0.0
ファミリー・サポート・センター	0.0
その他	8.3

2 事業の運営について

問2 貴事業所における子育て支援サービスの利用者数を教えてください。

※ 令和6年8月時点での利用者数を年齢別にご記入をお願いいたします。

	0歳	1歳	2歳	3～5歳	2号認定 児童数
定員数	94	131	171	952	625
利用者数	58	140	146	635	404

問3 貴事業所における子育て支援サービスの利用者数の今後の予定を教えてください。

今後の予定	0歳	1歳	2歳	3～5歳	2号認定 児童数
令和6年度	12	30	29	110	85
令和7年度	44	58	92	418	265

問 4 円滑な事業運営を進めていく上で、現在、特に困難を感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

	%
従事者の確保が難しい	75.0
利用者の確保が難しい	33.3
財政面で厳しい	33.3
事務作業が多い	50.0
施設・設備の改善が難しい	25.0
必要な情報の入手に支障がある	0.0
従事者の資質向上を図ることが難しい	16.7
市役所等との連携を図ることが難しい	0.0
利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない	0.0
その他	0.0
特に困難を感じることはない	0.0

問 5 平日における一時預かり（預かり保育）を現在実施していますか。現在実施していない場合、今後実施する予定がありますか。 (あてはまるもの1つに○)

	%
現在実施している	58.3
現在実施していないが、今後実施する予定がある	0.0
現在実施していないし、今後実施する予定もない	41.7
合計	100.0

※問5で「1 現在実施している」もしくは「2 現在実施していないが、今後実施する予定がある」と回答した施設の方に対して、おたずねします。

問 5-1 平日における一時預かり（預かり保育）について、対応可能と考える1日あたりの児童数について、ご記入ください。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対応可能児童数／日	58	61	61	62	62	62

問 5-2 平日における一時預かり（預かり保育）の対象児童について、あてはまるものをお選びください。 (あてはまるものすべてに○)

	%
在園児（3歳以上）	57.1
在園児（3歳未満）	57.1
在園児以外（3歳以上）	42.9
在園児以外（3歳未満）	42.9

問6 貴施設では時間外保育事業（延長保育事業）を実施していますか。

（あてはまるもの1つに○）

	%
現在実施している	75.0
現在実施していないが、今後実施する予定がある	0.0
現在実施していないし、今後実施する予定もない	16.7
無回答	8.3
合計	100.0

※問6で「1 現在実施している」もしくは「2 現在実施していないが、今後実施する予定がある」と回答した施設の方に対して、おたずねします。

問6-1 平日における一時預かり（預かり保育）について、対応可能と考える1日あたりの児童数について、ご記入ください。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対応可能児童数／日	109	112	112	112	112	112

問7 貴事業所を運営する法人が、新規に事業を展開する予定のサービスがありますか。
あれば、下枠にサービス名をご記入の上、それぞれの設問にお答えください。

サービス名	予定最小人数	予定最大人数	開始予定年月
幼保連携型認定こども園	71	71	令和8年4月
児童発達支援センター	10	20	令和9年4月
新制度施設給付型幼稚園	95	104	令和7年4月

問8 貴事業所で行っている子育てサービス等に関連して、保護者から要望等を聞かれたことがあれば、その内容についてご記入をお願いいたします。

保護者からの要望
保育料や延長保育
一時預かり保育のキャッシュレス化
病後児保育の必要性。病児・病後児は看護師必要であり、またリスクも伴うものなので、慎重に検討して万全な環境で行う必要があると思う。
兄弟園児が同一保育所に入所困難な状況を改善してほしい。
送迎バスの運行
日常保育の様子が見たい。
支援を必要とする子どもの受け入れ。要望はあるが対応する職員（加配）の確保ができていないので、断っている状況。

3 子どもを取り巻く状況について

問9 市では子どもの貧困の現状把握や対策について、検討を始めています。

子どもの貧困について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。

※ 子どもの貧困/家庭での子育てや教育に関心が低いことや経済的な困窮など、生まれ育つ環境によって学びの機会や健康的な生活が損なわれている可能性がある、17歳以下の子どもの生活状況

<状況や問題点・課題>	<課題解決に向けて取り組むべきこと>
経済的貧困に基づく習い事や旅行などの体験が少ないという貧困も存在する。	園ではできるだけ、多くの体験ができるように園バスによるグリーンパークへの遠足、自然博物館へ連れて行っている。また、行事として保護者参加のバス遠足も行っており、出来るだけ多くのことを経験できるようにしている。
長時間預ける保護者が増加し、また預かり時間が長い子が低年齢化している状況。0歳児が、午後7時のお迎えになるなど、親子の時間が取れていないのではと思われる。長時間になっている子は、園でもぐずる子が多い。また朝ごはんがしっかり食べられているのか、昼食の時間を待たず、機嫌が悪くなったりする子も時に見受けられる。	親子の時間をしっかり持ってもらい、朝食もしっかり食べるなど、園だより等を通して保護者に働きかけている。また、保護者と担任がしっかり連携していくなどを通じて、親子の会話を増やし基本的な生活習慣の確立を家庭でもし、子どもの当たり前の幸せを基本とするよう今後とも園としてできるだけの支援をしていきたい。子より自分の時間を作りたい親が増加していると思われる。
園児を取り巻く環境の把握	園と市の担当者との情報共有など
子どもによって貧困の状況は様々だが、給食でしか栄養のバランスの整った食事を取れない子がいる。	親の子育てに対する余裕と意識の向上
保護者自身にはお金をかけているのに、自分の子どもにはお金をかけていない。	.
当市においては、子どもの貧困と家庭の貧困はイコールであると思われる。貧困家庭の連鎖（相続）も多くみられる。また、情報社会なので、貧困家庭は他の家庭環境と自身の家庭環境を比較することが安易であり、それを感じる多感な時期の子ども達は精神的に不安定となり、発達の遅れなどを判断されることが多いのではと感じる。	格差が大きくなっていると感じるので、ありきたりではあるが、市としては家庭児童相談のように家庭を支援する機関を強化し、他部署との連携が取りやすい環境をつくるなどの人的な確保が必要と思われる。
保幼小連携と高等教育への接続のための教育費の給付 就職時の条件設定付与による給付型奨学金の創設	保幼小の連携強化と高等教育への接続支援
子どもの貧困やヤングケアラーなどの問題が、子どもの受けるべき教育の機会を奪い、将来の職業選択の範囲を狭めることになり、それが経済格差につながっていく。また、そのことが結婚を望まない大人の増加や少子化にも拍車をかけることになる。	物価上昇に合った賃金。子どもの貧困を救う社会保障の充実。子どもの教育支援の受け皿となる幼稚園への経済的補助や人的補助の拡充。

問 10 こども・若者を取り巻く課題について、日ごろの活動を通じて、こども・若者たちの様子で何か気になっていることがあれば教えてください。

<状況や問題点・課題>	<課題解決に向けて取り組むべきこと>
こどもが寝る時間が足りていないように思う。	保護者へ寝る前にブルーライトを子どもに浴びることがないように、話をするとともに、睡眠時間の確認をしている。
子ども達や若者そして大人も十分な睡眠をとれていないことに危機感を感じる。ネット社会の急激な普及により、手軽さや娯楽という生活が睡眠不足の原因となっている。また、睡眠不足は発達にも大きな影響を与える。脳を育てる大切な幼少期に十分な睡眠を取れず、登園をしづり、園生活を楽しめずに泣く、眠るといった姿がみられる。年齢が上がるにつれ不登校やコミュニケーションの苦手さに繋がっていくのではと心配だ。	睡眠の大切さを保護者に知っていく必要がある。大人の睡眠に対する意識を変えていければと考えるが、難しい。私たち保育者は、研修会で、学ぶ機会があるが、保護者の興味は希薄であり、園からも手紙を配布するなどの手だてをしてはいるが、現状は伝わりづらい。
いわゆる支援が必要な子どもたちの増加	勉強会を重ねていくこと
核家族や少子化、地域と家庭のつながりの希薄化。共働き家庭の一般化で、子育て機能が低下している。社会的にも親子関係の問題、いじめや不登校、引きこもり、児童虐待などが増えている。共働きが一般化しているなか、放課後の子どもの過ごし方	子どもの居場所づくりの必要性 子育ての負担減、不安感を軽減できるように地域社会の中で子育てができるような対策の充実
配慮を必要とする子どもが増えてきた	臨床心理士など専門的知識を持った人が定期的に園を訪問し、気になる子どもをみたり、職員から問題点など話し合う場を作る。園内で取り組めるようなサポート
暑さによるものなのか、少子化により大人が関わる時間が多くなったのか、自らの足で出歩く(外で友達と遊ぶなど)ことはなく、室内で一人で活動する子どもが増えている。スマホであったりオンラインゲームであったり、インターネットを通じて知らない人とも繋がれるなどの良い点はあるものの、健康的ではなかったり、人との関わりが極度に苦手である子どもが多い。	当園では実施しているが、スマホなどのメディアについての使い過ぎ(睡眠時間の減少)などについてアンケートを実施し、間接的な啓発を促す手法を検討する。
将来への希望を持てる家庭、地域環境の整備	目に見える具体的施策と啓発活動。成功事例の積み重ね。
親子で過ごす時間をもっと作ってほしいと感じる。月～土まで長時間預かる子どもの心の成長が心配。	子ども達の健康状態や心身の変化など、小さなことに気づいて、保護者への声掛けやアドバイスをする。保護者の気持ちにも寄り添う。
Z世代の特徴として、デジタルネイティブである。テクノロジーを駆使して生産性を高める。多様性を尊重し、社会問題に関心が高い。グローバル化していて、オープンなコミュニケーションを重視する。ワークライフバランスを大切にする。インターネットやモバイルデバイスを使いこなす。	子どもや若者が活躍できる創造的な場の提供

問 11 台風や地震などの災害発生時に、貴事業所のサービスを受けている子どもは安全に避難することができると思いますか。(1つに○)

	%
避難できると思う	75.0
避難できないと思う	16.7
無回答	8.3
合計	100.0

「避難できると思う」理由

鉄筋コンクリート造の為、耐震構造にしており、堅牢である。また、食料についても、一定程度は保管をしているため。

日頃より災害に備え、避難訓練を繰り返し、ある程度の災害には備えられていると思うが、大きな災害が発生した場合は心配である。

定期的に様々な訓練を行い、消防署や警察署の方にもお話を聞き、その都度、職員ともマニュアルを見直すようにしている。子どもたちも慌てず焦らず対応できるように職員も心掛けている。現在の訓練を今後もいろいろな災害を想定して行っていきたいと思っている。避難経路については、臨機応変に対応していく形を取っている。

台風は事前にある程度進路がわかるので、小学校の指示と同じような対策をしている。地震に関しては、机の下に隠れるように指示している。水害に関しては、まず川の氾濫の心配はないし、ある程度小高い場所に建っているので大丈夫だと思われる。

隣接する施設(ハピネス)に避難場所がある。

地震などにも強い鉄筋コンクリート造りの施設であるため、移動を必要としない避難は施設内避難で可能であると考えている。移動による避難が必要な場合は、送迎用のバスを数台所有しているためバスを使った避難は可能であるが、バスが利用できない状況である場合は、徒歩で避難できる場所がないため避難は困難である。

当園の避難場所はハーモニーホールであり、想定内の災害であれば避難所まで移動する避難訓練も行っていることから、避難できると思う。ただし、台風、地震、大雨、大雪の災害からは免れることができて、今後想定される暑さへの対応は、設備を改善しなければ対応できないと思われる。

避難場所が目にあるため

状況によっては、できないことがある。

台風や大雨、大雪の場合は、事前に気象情報を入手し、休園などの措置をとっている。

園外に避難場所を確保している。

登園が危険だと判断した場合は、休園とする。

開園時間中に線状降水帯の発生に伴う急激な雨で、遠賀川の堤防が本園の近くで決壊した場合は、避難できない可能性がある。気象状況を把握し、できるだけ早めに保護者へ連絡し迎えに来てもらう。

「避難できないと思う」理由

遠賀川が氾濫した場合、避難場所が中間北小になっているが、170名の乳幼児を連れて安全に避難することは現実的に厳しいものがある。2階に避難する訓練を日頃に行っている。

園舎は耐震性の高い造りで、台風や地震には強いが、避難場所に移動することは困難と思う。

問 12 子どもが公共施設や道路を利用するにあたって、事故の危険や不便を感じることはありませんか。（1つに○）

	%
危険や不便を感じる	75.0
危険や不便を感じない	16.7
無回答	8.3
合計	100.0

【危険や不便を感じる】具体例

車が進歩し安全になっていると思うが、園の前の道路をかなりのスピードで走行している車が多い。

ベビーカーを利用する親子連れなど、交通の混雑時間は危険を感じるとともに、バリアフリーになっていないところでは不便を感じる。

歩道のない場所があり、散歩コースを変更することがある。

園外保育では、車が少ない道を利用し、安全面には気を付けながら歩いているが、全く車が通らないわけではないので、100%安全とは言い切れない。

いろんな場所において小さな子どもの手をつないでいない親が多くて心配になる。

通谷電停の入り組んだ交差点は通行量も多く危険を感じる。また、踏切もあり不便である。歩道橋はあるが、小さな子どもを連れてやベビーカーは困難である。

道路（歩道）の利用に対して不慣れなため危険を感じる。車社会であり、通園、通学のみならず、たとえ目的が子どもが友達の家遊びに行く時でも、車で送り迎えを行う親が多く、歩くことに慣れていないと思われる。園でもできる限り、園外に連れ出し園児を歩かせたいと思うが、親の意思に反するのではないかと気にすることも多い。危険を感じるが不便は感じない。

子どもがチャイルドシートに安全に着席しているか心配。駐車場前道路が少しカーブになっており、見通しが悪いことが心配。カーブミラーはついている。

幼稚園前（東側）の道路には歩道が片側しかない。

問 13 子育てサービスの現状や子育ての経験などから、どのような支援策の充実を行政に望みますか。または子育ての課題に関連して困っていること等がありましたら、教えてください。

行政に望む支援／子育ての課題に関連して困っていること等
保育料は他市町村に比べて、安いのでその制度の維持、拡充。学校教育の拡充。2, 30年前より進学校への進学率が低下しているように思える。
まず、幼稚園に対して金銭面でもっと補助があると助かる。無償化になってから入園料を取っておらず、それが25,700円では回収できず、今更徴収するにもいかず、別の項目で徴収すべきか検討中だ。よく保護者から聞くのが、病院の受診料の負担が近隣の市町村よりも大きいことだ。18歳まで無料のところが多いのに、中間市はお金がかかると。それで、市外に引っ越しを検討する家庭もある。また、共働き＝保育園と考えている保護者が意外と多いことだ。これは幼稚園の情報発信不足なところもあるが、市に相談にきた保護者には共働きでも幼稚園に入園できる旨を伝え、保護者も選択肢が増えるのではないかと。
共働きが一般化しているなか、放課後の子どもの居場所づくり。病院、病後児預かりの充実。子育て支援センターや地域コミュニティセンターのサービスの普及と地域の人々（高齢者も含めて）の活用。 子どもたちに、より目が届くように、保育所、幼稚園、学校の職員を増やす。 働きながら子育てしやすい環境を整え、またそれを推進する企業の支援。 配慮が必要な子どもの受け入れ。
保育士不足。子どもの人数に対しての保育士の数。
保幼の横ならびによる質の向上と小学校との連携。高等教育への接続と条件付き給付型奨学金の創設。 若者の企業を支えるハード面の整備（例えば、集合住宅の空き部屋を整備して、若者による起業事務所として無償での貸与や、法人税の期間限定の減免後、一定期間中間市に事務所の設置を条件づける。小・中学校の職場体験として、若者のベンチャー企業での生徒インターンを行うなど）。将来の道筋が見える化と体験的学び、中間市に住むことのメリットを両立させるような取り組みを望む。
働く保護者のために育児手当や育児休暇、その給付金など充実させてほしい。
市民ホールや図書館、公民館などの公共施設の充実 未就学児が保護者と一緒に遊べる施設の設置 子育て支援サービスを行う施設（特に幼稚園）への経済的支援

中間市 こども計画策定に関する 子育て・教育関係団体意向調査

有効回答票・・・17 団体

【回答団体の支援内容】

子育て支援	校区まちづくり支援
障がい児支援	こども食堂
学童保育	若者就労支援
学習支援	ひとり親支援
生活困窮支援	その他

問 1 団体の活動目的・対象者などについて、ご記入ください。

活動目的	対象者や対象年齢	スタッフ数	利用登録者数
キュー(救)ピー(親)として、子育ての大切さと楽しさや苦勞を伝え、親も子供も心豊かに成長するためのサポート活動	赤ちゃんから高齢者まで	7	7
発達に気がかりのあるお子さんへの母子通園療育 小集団教室・個別療育(医師・臨床心理士・言語聴覚士)	発達に気がかりのある児童・0～18歳	5	
言葉や身体の発達など気になるお子様の成長の手助けをし、お子様や保護者の状況に合わせて、親子や小集団、個別の指導と共に、様々な遊びを楽しみながら成長・発達を促し、自分の足で一歩一歩歩き日々成長していく子供に寄り添う保護者と支援者の団体。	対象は2才～20才未満で、発達に特性のあるお子様	30	140
保護者が仕事などで、子どもの面倒が見ることができず、小学生(地域)を預かり、放課後、冬休み、夏休み等の長期休みに、子ども達が安心して過ごせる居場所作り。	地域の小学生1年生～5年生対象	12	
小学校に就学している児童であって、保護者等が就労により不在であるため、保護者に代わって放課後児童に遊びと生活の場を提供し、支援員のもと様々な活動で児童の育成を図る。	中間北小学校 在校生1年生～6年生	3	37
放課後、親が自宅にいない家庭の児童が安心して過ごすことができる場所を提供し、子どもたちを見守り、育む 学童保育所運営	小学校1年～小学校4年 全体の定員に応じて、5、6年生は入所可 小学生	6 8	68 .
家庭、学校以外の第三の居場所をつくる(子どもたちが安心して過ごせる居場所)	小学校3年生～高校生	13	24
規律ある楽しい充実した子ども会を支援し、元気に中間市を盛り上げる。子どもが大人と協働できる子ども会活動をおこなう。	子どもジュニア活動 小学生から社会人	25	
生活困窮者自立支援制度に基づく「子どもの学習・生活支援事業」を実施している。生活保護および生活困窮世帯の子どもへ学習支援・生活支援を実施し貧困の連鎖を断ち切ることを目的としている。また、子どもを入口とした親への支援。	生活困窮者世帯・生活保護世帯のうち、利用決定がなされた児童・生徒。小学校高学年～中学生としているが、高校生の中退防止を目的として高校生の利用も可能。	4	10
青少年健全育成	青少年	1	
学校卒業後、中途退学、離職等様々な要因によって無業状態にある方の働くための準備から就職、定着までを全面的にサポートする、就労支援の窓口	15歳以上49歳以下の無業状態にある方とご家族	19	119
母子を寡婦がお互いに助け合い親睦と生活の向上を図り、地域との交流関係を築いていくことを目的とする	ひとり親家庭と寡婦		38
毎日の生活の中での見守り、変化、相談などに気付き行政や機関につないでいる	地域全体、特に児童、高齢者	67	
明るく元気な住みよいまちづくり	底井野校区の住民	7	
子供食堂、みんなの食堂	なし	15	
社会福祉事業	・子育てサロン:0～3歳までの子どもと保護者 ・東学童保育:入所基準を満たした1年生～5年生の児童 ・親子ひろばリンク:発達や成長に気がかりのある0～18歳の児童 ・福祉教育:学校や地域を対象に福祉体験学習、ボランティア学習 ・その他:生活困窮者世帯等(フードパントリーイベント・生活福祉資金貸付事業)	45	

問2 団体の活動目的について、「子育て支援」と「親育ち支援」の視点から取り組んでいることについて、ご記入ください。

※ 親育ち支援/親が子育ての喜びや大変さを味わいながら、子どもの成長や子育てを楽しんでいけるように支援すること。

①子育て支援としての取り組み内容	①子育て支援としての課題
発達が気になるお子様の子育てに関する保護者向けの研修や親子教室、リトミック遊びなどに取り組んでいます。	コロナ禍前は、親子教室が中心でしたが、コロナの為単独での通園をせざるを得なかったため、今後は徐々に親子教室に戻していく予定です。
学童に到着後、おやつ・宿題を終わらせて、室内外で怪我無く遊ぶこと	雨天時は人数も多く、狭い場所でどう過ごすことができるか。
・なかまnaviという名称で、集合型の学習支援を週2日開催している。 ・個々の子どもに応じた学習を促し、学習の機会を確保している。 ・様々な経験不足を補完し、子どもたちの生きる力を伸ばすために定期的にイベントを企画実施している。	適当な支援員の確保、ボランティアなど多様な人材の確保が課題。
食事の提供、居場所づくり 子育てサロン	
学習支援(毎週土曜日 10:00~12:00) 中食提供(月1回 12:00~13:30)	
児童の登下校時の見守り	現在、車で子供を学校に送って来る方が増えて、歩いている児童がいてもスピードをゆるめない。児童の歩いている前で車を停め自分の子を降ろす
放課後の時間、児童が安心して過ごせる場所になるための環境づくり、保護者様が安心して学童保育所をご利用できる環境作り 子育てサロン…同じ子育て中の保護者の交流を通して、共感できる仲間づくりや情報交換、親子でのイベントなど憩いの場を提供している。 孤立しがちな子育て世帯を支援。 小集団での活動を通して、親子一緒に療育していく。お子さんの発達面で気になる所を聞き取り支援していく。 保育台帳個人カードを基にし、日常の子どもの言動を注視し、毎日のミーティングや日誌を通し、できるだけ詳細にその日あった事などを伝えるようにしている。	
特別な支援が必要な子供の対応は、家庭や学校と連絡を取り、適切な支援をし、安心できる居場所になるよう配慮している。 ・子育て広場 ・砂山ひろば	人によって子供の対応の仕方が違う場合もあるので、それが大きな課題といえる。 働く保護者のため開所、閉所の時間の延長が課題である。
②親育ち支援としての取り組み	②親育ち支援としての課題
元支援学校校長による先を見据えた研修会や受験に向けての面接指導。療育センター小児科医や臨床心理士、作業療法士の研修	一旦事業所を卒業した子への後方支援の在り方について
児童の様子を共有するとともに、日々の育ちに関して相談を受ける。	どのように相談しやすい雰囲気をつくるのか、また、社会情勢により、子の育ちを各家庭の方針に沿わせること
・保護者との関係作りのために、毎月通信を発行、年に数回の親子イベントの実施。 ・学習支援利用世帯に対し、生活面・子育て面での支援実施。 ・課題が多い世帯には生活支援等を通して関係構築に努めている。	・予算および支援員の確保が課題である。 ・家計改善支援や福祉サービスの利用が必要と思われる世帯でも、保護者に困り感がなく必要な支援につなげることが困難な場合がある。
	厳しい家庭環境の親を個別に変えていく支援には限界がある。だからこそ、みんなの環境を創ることが大事だと思う。力を借りて、みんなで関わり繋がることで、それぞれがこどもからも元気をもらえる環境を創ることが大事だと思う。
食事の提供、居場所づくり	
・親子クッキング・親子で楽しむコンサート、お話し会等 保護者・スタッフ研修(年4回の講演会)	場所がない(中間市の中心部に)
	自分の子も人の子もかわいいと、同じ様な気持ちになって欲しい
保護者様と職員が身内のような信頼関係にあって悩み事や相談ができるような関係づくり 親子ひろばリンク…保護者と児童と一緒に通園することで、児童の安心感はもちろん、気持ちの共有ができる。また、家庭での様子と集団での様子の違いを知ることができる。児童との関わり方で悩んでいる保護者はスタッフの関わり方を参考にし学ぶことができる。スタッフや保護者同士のつながりができ情報交換ができる。ペアレント・トレーニングの講演会を1月に行う予定。	
小集団での活動を通して、親子一緒に療育していく。養育者向けの講演やグループディスカッションなどをもうけ、子育ての支援を行う。	
毎月々、学童通信を発行し、行事予定、全体的な学童の様子等を知らせている。また、週・長期休みの利用アンケートを実施し、保護者には控えを持ってもらい、出欠確認を把握している。	長期休みの利用アンケートの提出が遅かったり、通信を読んでなかったりが数名いる。
退所時に、保護者と顔を合わせるため、子育てに対する考え方など話し合える機会が持てる。	子育てや子供に関心のうすい保護者への対応が課題である。
手紙などでの発信	

問3 中間市の子育てや子どもが育つ環境について、充実していること、不足していることを、ご記入ください。

①中間市が充実していること	②中間市に不足していること
近隣にはない“児童発達支援センター”があること	シングルマザーの保護者が手術・入院した時に、その子ども達の緊急避難場所が中間市にはなく、離れた町の施設に短期入所、短期転校するしか方法がありませんでした。障害を持ちおさんは環境が大きく変わることへの不安から対応は困難でした。
新児童手当 10月～ 給食費の無償化	学童については、部屋自体が狭く、子ども一人一人が思うように過ごすことが難しい。(気分が悪い子が休める場所がない。)
・民間の活動がある(こども食堂、子どもの寺子屋等) ・自然が豊か。 ・商業施設がまとまっており、生活がしやすい。 ・公営住宅が多い。	・働く場所 ・子育て中の親が気軽に立ち寄れるところが少なく、育児に専念する母親が孤立しがち。また、不登校児などの話ができる場所、過ごせる場所がない。親の居場所。 ・子どもの居場所
子どもに関わるそれぞれの行政(課)・学校や団体がこどものためにきめ細かく一生懸命取り組んでいる。	こどものために取り組んではいるものの、目的が同じであってもそれぞれの考えで取り組んでいて、連携も十分ではなくバラバラ感は否めない。目標を一つにしてみんなで関われるものを創り、問題への対処ではなく、こどもを中心に創造できる街に。親が金銭的な支援だけを求めて転居してくる家庭からこどもを中心に子育てを考える家庭
	給食費の無料化が実施されていない。公約違反である。
わかりません	子育てを応援するボランティア団体に対してのサポート
こども家庭センターができたこと	・ファミリーサポートがない ・子供が安心して遊ぶことのできる場所、施設がない
	不登校児童・生徒の居場所が不足している
	小中学校がこれからどんな風になってゆくのか？皆さん不安に思っている人が多いので、情報を伝えてほしい
学童の待機児童がないように、4月時点での申し込みを受け入れている点	学童への関心が少ないと感じています
・児童の安全面見守り…通学安全協力員による登校時の見守り ・登下校見守り安心システム「ツイタもん」の配布 ・ランドセルカバーの配布 ・安心メールでの不審者情報等の配信	・医療費の無償化による経済面の負担軽減 ・学童保育所の開所時間の延長
子育てサロン・子育て支援センター	- 子育てのイベントが少ない - 小学生などの居場所作り
18時以降になってもお迎えの時間延長代金をとっていない事は、保護者にとっては、とても助かっていることだと思う。また、保育料の安さも…。	中間市には5つの学童が存在しているが、例えば長期休みの夏休みについて、1つの学童はお盆休み(3日間)があり、他は開所している。保護者からしてみれば、「何故？」という声を耳にした。統一性が必要でないでしょうか。
・行政が行っている小中学生対象の各種体験教室やスポーツ教室などの開催。 ・大・小の公園が多い。	子どもがボールを使って遊ぶ場所が少ない(公園でボールが少ない)。

問4 日ごろの活動を通してのお考え等について、次の①～⑤の項目ごとに記入ください。

※ 団体の活動内容に合致しないなど、ご記入の難しい項目については空白でかまいません。

① 子どもが感性豊かに健やかに育つことができるまちづくり	
状況や問題点・課題	課題解決のために必要な取り組み
・療育手帳取得や特別児童扶養手当の申請窓口に保護者が相談に行った際に、対応職員が不在で迅速に対応してもらえず不安になりました。 ・親の育児能力や心身の不安定さ等の環境下で不登校になってしまったケースがあり、学校に通えていれば身についていたはずの力が身につかず、学習の積み重ねができなかったことがありました。義務教育の間は、育ちを保証できる環境づくりが必要です。	学校だけでなく、役所や民間、地域の人たちとの情報共有できるシステムが必要です。保護者がいつ相談に行っても、専門性のある窓口の対応、サポート体制の強化。親身に寄り添って対応していただきたい。
子どもたちが遊ぶ中で、どうしても、突発的な事故やけがが発生する。それを防ぐために、子どもたちの動きが縮小されてしまう点。	安全に過ごさせるために、私たち指導員が常に子供たちに危険を知らせる。
・困窮世帯の子どもは社会経験が少なく、社会参加の機会もない。そのため、成長するに従い、居場所が見つからず、SNSへの依存が見られるように感じる。 ・虐待、ヤングケアラーなど、多少の関りでは見えにくい状況になってきている。常にリスクがあることを念頭において対応している。	・社会参加の場はあるが、そこにつながる力やつながる気力が無い世帯が多い。誘ってくれる人、一緒に連れて行ってくれる誰かが必要。 ・子どもの人権が守られるためには、親への支援が必須。 ・誰もが気軽に集える居場所、カフェのような場づくりを、地域を応援する形で市が率先して設けてほしい。
手厚い支援や取組を通して個を育てる対策はされているが、中間市としてどう子育て環境を創り、どんな力をつけるのかといった方向性が統一されていない。	自己肯定感と子育て環境を創るために、みんながこどもを中心に繋がって「孤立」する家庭やこどもを作らない対策が必要。そのために、支援する側の大人が繋がる必要がある。みんなで子育ての意識づくり。
学習支援室(市役所にある支援室)をもっと明るい場所へ	子供の生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を守るため困っていることを聞く。窓口を作る(親の窓口、子供の窓口)
公的支援を受けられない子供たちの実態と対応	私的活動団体からの聞き取り調査と実態把握
学童保育所の職員配置に、配慮が必要な児童への加配配置がなされていない。学童保育所と小学校の連携の必要性。	
ヤングケアラーと思われる児童や、虐待を疑う発言をする児童がいることがある。	これまでどおり、関係部署につないで連携していきたい。
児童発達支援事業所・放課後デイサービスの施設が少ない	施設を増やすか、受け入れ人数を増やすように人材の確保・施設の拡大が必要
子どもたちは、学校と家庭が主な活動の場である。大人に比べると狭い社会の中で、ミスすることや小さな失敗をとても気にする。これからのむずかしい世の中で失敗をおそれずチャレンジする勇気を持つことが課題だと思う。	学校や家庭以外にも活躍できる場があり、好きなことにチャレンジできて様々な経験ができることで、生きる力を育んでほしい。

② 安心とゆとりをもって子どもを生み育てることができるまちづくり	
状況や問題点・課題	課題解決のために必要な取り組み
年々シングルマザー、シングルファザーの増加を実感しています。支援学校の送迎に苦労されているところもあります。寮に入りたくても、週始めの送りや週末のお迎えなどを考慮すると、難しく断念されました。 別件で、保育園に通っていたのに、障害があると診断されるとそれを理由に退園を余儀なくされました。	ひとり親家族での子育ての支援。頼れる場所やサービス 障害の有無関係なく通える保育園
経済の悪化、教育費の高騰など、安心して出産できる状況にない。それに対する支援が少なく気軽に相談できる機関も少ない。	子どもに関係する機関だけではなく、全ての行政機関が連携して孤立する可能性がある子どもへの支援をスムーズに行う必要がある。
個への対応には、支援のための施設や予算・人員も限界がある。個の状況も違うため、それに対応しようとして行き詰まっている状況がある。	みんなで「中間のこども」を意識して、みんなでこどもに関わる子育て環境ができれば、親も子も地域も安心とゆとりができる。あいさつや声かけができる環境ができれば、孤立する家庭が少しでも減って、心を開いて相談できる繋がりも少しずつ増える。
ひとり親家庭の生活の安定が図られているとは思いません	ひとり親家庭の本当の実情を知って、市の方から、様々な支援(があるのなら)をもっと知らせていくべきだと思います。
	団体として託児時に困っていることを聞く。親との会話により現状を知り、不安や負担を和らげるための取り組みをしていく。
公的支援を受けられずに困っている家庭等の実態調査とそれに基づく公的支援	はばたけ子どもネットワークの活用
安心して子どもが産めても、その先の親の孤立を防ぐ為の手厚い支援も大切だと思う。支援方法も個別にニーズに合った寄り添い方が必要だと思う。	具体的に親子支援の方法や施設紹介等、幅広く知ってもらう(市政だよりやホームページ、チラシ等)。時間や曜日等も考慮する必要がある。
安心して預けるには各保育園幼稚園、小中学校の先生不足なのに市はまったく関与していない。	市に保育園幼稚園の環境をわかってもらいたい。デスクワークばかりでは現場が見えない。

③ 地域全体で子育てを支えることができるまちづくり

状況や問題点・課題	課題解決のために必要な取り組み
人を信じる力は、周りの大人との関係(親、地域の見守り)等で培われるものだと思います。希薄になった地域でのつながりをどう復活させるか、大きな課題だと思いますし、子育てしやすい環境づくりにもつながるのでないかと思われます。	地域交流の場や、子どもが放課後遊べる世代間を越えた交流ができてほしい。
・病児保育が遠く利用しづらい。 ・市役所の駐車場が狭い。河川敷から小さな子どもを連れて行くのは大変。 ・交通の便が悪いなど。 ・警察署がないため相談に時間を要する。 ・小学校下校時のパトロールをしている。(毎週金曜日)	
	子ども達が主体となって活動できる取り組み
中間市の施策がこどもや子育てが中心になっていない。中間市が潤うために、①働く場(企業誘致) ②商業(集客) ③子育て環境 となつて、お金を動かして市を活性化する今の施策は、都会的な考えで中間には合っていないのではないか。人が集まる条件は、安心して生活できる街。	子育ての繋がりをつくるために、こどもを中心に施策と予算を創る。安心できる環境があれば、人は集まり定住も増える。そしてこの街で働きたいと思う。
・毎年底井野小学校の2学期の始業式後に希望者のみを対象にした地域住民との「ふれあいまつり」を実施している。 ・底井野小学校下校時に毎週金曜日青色パトロールを実施し、下校時の様子や不審者の確認をしている。	
通学・下校時の見守りはよくなされていると思う。	地域により子供の数が違っている。自身の地域に何人いるのかわからないが地域で見守ることを徹底していく。
地域の実態調査(きめ細かな)	まちづくり協議会への更なる支援(財政、人材)
地域の子ども会、イベントがない。安心メールで不審者情報を知ることができる反面、地域で気軽に児童への声掛けがしにくくなっている面もあるように思う。	世代間交流ができる活動、イベントの必要性
子育てと仕事の両立という面は、学童に関しては親の就労時間と学童利用時間とのズレがあり、難しい。学童で働いている人も子育て中の人もいて、その兼ね合いもある。	地域に根付く子ども110番の家や施設を増やし、細かい目配せが必要だと思う(子どもが気楽に立ち寄れる場所)。

④ 心身ともに健全な次代の親を育むことができるまちづくり

状況や問題点・課題	課題解決のために必要な取り組み
今まで携わってきた子ども達の就職相談が毎年のようにあります。就労がうまくいかなかった青少年が閉じこもることなくサポートできる場所があればと思います。あるのであれば周知してほしいです。	引きこもり、不登校など、子どもの心身の発達診療体制の構築(診療所)サポート体制はあると思いますが、もっと充実させてほしいと願います。一般市民への周知や相談窓口の充実
・中学校卒業後、進学をしなかった子や高校中退者、18-20歳等の子どもの把握やケアが出来ていない。	ロールモデル等、将来像を創造しやすくなるような人との関わりなどが持てると良いと思う。 まずは自分のいのちが大事にされているという実感が持て、地域での役割等を担う機会が得られるなど。
子育てをその親や家庭にだけ任せない。孤立した家庭や親を生まない街づくり 子育ても教育も、自分が受けてきた経験が基本となる。負の子育てや教育を受けた大人を変えるためにも繋がりをつくり孤立させないことが大切。	地域の中で新たな繋がりをつくる。いつも声をかけ、あいさつを交わし、相談できる街づくりが、負の経験を正しい経験へと変えることになる。
こどもの数が少ない・・・わがまま、言いなりになっている こどもの数が多い・・・放任になっていないか考える	・家庭環境を見直す ・家族でのコミュニケーション、信頼できる関係づくりをしていく ・子供の時から自分にできる1つのお手伝いをさせる
地域の実態調査	自治会、まちづくり協議会への公的支援
色々な世代の方が集まれるイベントが少ない	お得なイベントを準備し、行ってみたいと思える場を提供する。(例: こどもバイキング・ポイントカードを集めるイベント)
幼稚園や保育園、小学校、中学校での自分の立場や相手を思いやる気持ちを考え、養うには家庭での教育も大切だと思う。	親向け、子向けの講演会や授業での取り組み時間を増やす。参加してもらう為に、親子参加型イベントも同時に行い、幅広く興味を持ってもらう。

**問5 市では子どもの貧困の現状把握や対策について、検討を始めています。
子どもの貧困について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。**

※ 子どもの貧困/家庭での子育てや教育に関心が低いことや経済的な困窮など、
生まれ育つ環境によって学びの機会や健康的な生活が損なわれている可能性が
ある、17歳以下の子どもの生活状況

状況や問題点・課題	課題解決に向けて取り組むべきこと
シングルで子育てされていて、保護者自身にも発達に特性が見られるご家庭で育ったために、子どもの持っている力を十分伸ばせず、発揮できる力がありながらも伸ばせないお子さんを目の当たりにしています。何とかしてあげられないかという思いがあります。	地域で連携を取り、情報把握ができれば、それぞれでの持っている力でサポートできることはあるのではないかと思います。
・子どもの貧困は世帯の貧困である。子どもを取り巻く環境全体を良くしていく必要があり、最も身近な存在である親への支援を充実させなければ悪化する一方だと考える。 ・ひとり親世帯への支援全般(特に母子家庭)を拡充しなければならないと感じる。物価高騰等により、食糧支援の相談も増えている。 ・保護者自身に、身近な支援者が不在な場合も多く、精神的なサポートが得られにくい。 ・親の経済的な状況を考えて進学を選べなかった子や、進学を前向きに検討出来ない保護者がいる。	・市内ではどれだけの子どもが困窮し、何に困っているのか、既に把握しているデータから把握を始める。それらのデータおよび関係機関からの聞き取りをもとに、取り組むべきことを、当事者・有識者を交えて協議してみてもどうかと思う。
貧困が招く孤立。孤立した家庭や親は、自分が受けた負の子育てを継承してしまう。また、孤立は自己の判断だけで感情に流されても制御できないことが多くなり、虐待にも繋がる。特に、ここ数年登校させないことを負担と感じない家庭も多くなり金銭以外は支援を受け入れない家庭も増えている状況が見られる。	繋がりや自己肯定感を高め、子育ての視野を広めることができる。市として子育ての繋がりをつくる地道な政策が必要である。
子供の貧困はあると感じています。また、その親自身も貧困家庭で育っていたり、ネグレクト気味に育てられていて、親自身がそういった環境で育っているのが我が子に対しても、そういう環境を与えていることに違和感を感じていないと思います。	子供だけをサポートするのではなく(もちろんそれも必要だと思いますが)その親や家庭単位でのサポートが必要だと感じています。
把握できていない、踏み込めない	「困っていることがあれば、助けてほしいと声をあげてもいい」を知らせる
アンケート調査の実施と緻密な分析から課題点を引き出す	引き出された課題の優先順位と課題解決のための政策
家庭の経済状態や家族の問題などから年齢に合った栄養が十分に摂取できておらず、数年後に生活習慣病になり思うように就職活動が出来ないケースもある。また、元ヤングケアラーの方が就労をする際、長期的な就労支援が必要になることがある。	本人の課題に対して、支援者(応援団)を増やし、各機関が連携を行いながら支援を行っていくことが必要。
生活困窮世帯は経済的な課題に併せ、雇用の問題や世帯の問題(ひとり親世帯・単身高齢者の増加)、家族間の問題(DV、不登校、介護等)が複合的な課題を抱えていることが多い。生活困窮という人には話づらい課題を、自ら支援機関に相談することはなかなか抵抗があることだと思う。また、支援制度や手続きの仕方、社会資源が分からない(知らない)、知っていても積極的に利用しないなどの課題もあるように感じる。	生活困窮に関しては、子どもの課題というよりも世帯全体の課題になり、複合的な課題を抱えていることが多いため、多機関が協働し、継続的な支援が行える体制の整備。また、生活困窮という自ら相談しにくい問題を早期発見できる仕組みや地域づくり、支援を必要とする方を支援につなぐ(つながる)仕組みづくり。 こどもの貧困対策として、学習支援、居場所支援、さまざまな体験ができるような参加支援、生活支援など必要とされる支援は多様であるが、中間市においてどのような支援が必要とされているのか、そもそも困窮世帯(支援を必要とする世帯)はどのくらいいるのかなど中間市の実態を把握し、取り組むべきことの検討が必要。(支援者としても市内の生活困窮者の実態やニーズを把握し、対策を検討していきたいと考えている)
貧困家庭であっても親がお金を使って子どもにはお金をかけない家庭がある。	.

問6 こども・若者を取り巻く課題について、日ごろの活動を通じて、こども・若者たちの様子で何か気になっていることがあれば教えてください。

状況や問題点・課題	課題解決に向けて取り組むべきこと
不登校、引きこもりが身近で増えています。	学校、地域の事業所が、情報共有し、問題解決の糸口を見出し、協力して働きかける仕組みが必要。 北九州には若者サポートセンターがありますが、規模が小さくてもそのようなサポートが必要だと思ひますし、もっとアピールしていただきたいと思ひます。
若い人や子どもたちを見て思うことは、便利なもので溢れていて、物を大事にしない。何かをするときにめんどくさがる。また、何かを工夫しようとしんない。	
・対応するこどもたちについて、自尊感情の低さが気になる。 ・幼少期からのスマホ、ゲーム依存。口腔ネグレクト。生活習慣が身についていない。 ・性教育の不足から生じる望まない妊娠、性暴力、DV 等。 ・SNSの普及により、簡単に多くの人達とつながれる反面、トラブルが増え、リアルな人間関係が希薄になっていると感じる。	・年代を問わない多様な人が集う居場所や、こども若者の居場所が必要。そこには自分を気にかけてくれる人がおり、気軽に相談ができたり、そこに行けばなんとかなると思える場所。 ・日常的に行ける楽しい場であり、学校区単位レベルの距離感。 ・包括的性教育。バウンダリーを知ることで、自他を尊重し、誰の人權も侵してはならないと理解できるようにする。
家庭が周りを受け入れなくなっている。こどもが学校へ行かないことへの困り感がなくなっていることへの危機感。 学校も、コロナや働き方改革も相まって、家庭に入らなくなっている。こどもとこども、こどもと親、こどもと大人の関係性が希薄になっている。ネット依存も関係している。	学校や家庭、担当する行政任せではなく、市をあげて関係性を高め繋がるための取組を新たに創造し、今の「繋がる」取組を意識して再構築する。そのためには校区や行政の縦割りを無くし、みんなでこどもを中心に互いに元気をもらい合える関係性を創る方策を市として考え取り組む時期だと考える。
目にも見えないし、なかなか口には出せない生理の貧困が気になります。	学校等で、生理用品の調達に困っている事を気軽に言えるような仕組みづくりや、名前等を一切あかさなくても「あの場所にいけば生理用品をもらえる」といった場所づくりがいたると思ひます。
・朝起きた時から夜寝るまで携帯電話を話さない ・朝、昼、夜ご飯を食べていない。スナック菓子が多い ・すぐに「疲れた」の声が出る。無気力、無関心	・家庭でのルール決めをする ・生活を親子で見直す
きめ細かな実態を明らかにしてほしい(進路を閉ざされている子供達が現に存在している)	アンケートでくみ取れない実態を明らかにして、その課題解決のための市のチームを作って欲しい
家庭の経済状況や家族関係の問題から子供・若者達はストレスや不安を抱きメンタル不調を起こし継続的な就労が難しいケースも増えている。不登校やコロナで学校に行けなかったことで必要なスキルや知識が学べず、また経験も不足しているため自信がない若者が増えている	子ども、若者が集える安心・安全な居場所があるとよい。安心して話ができる場を作り、困っていることを話し、周りの大人と一緒に課題解決を行っていく。居場所に関わる様々な人から、スキルや知識を学び、コミュニケーション力も身につけ、経験も増やし自信につなげていく。
落ち着きがない児童が増加傾向にある。親と過ごす時間やコミュニケーションが減っているのも原因のひとつだと感じる。	学童でお預かりしているときは一人ひとりに向き合い対応して、児童が自分らしく過ごせるように取り組む。また楽しくリラックスして過ごせる場所の確保や環境も必要
不登校	居場所作り。家から出られないのであれば、オンラインでの居場所作り
遊んでいる中で、急に思い出したように、誰に訴えている訳でもなく、ただ独り言のようにして、「今日、保護者は仕事休みに家で居るのに、学童に来ないの？」と。働いているからという事は、子どもも十分理解しているが、やはり、友達とわいわい言いながら歩いて帰りたいと思っている子ども多数いる事だと思ふ。	保護者も週1度の休みの時には、色々と用事もあることだろう。また、ゆっくりしたい、という気持ちもなんとなく理解できるが、開所している時は、夕方ぎりぎりまで学童で・・・という気持ちよりも、休みの時は毎週でなくても、せめて1回くらいはみんなと一緒に歩いて下校させる。その後は保護者とゆっくり過ごす、という考えが少しでも頭の中の片隅に置いてくれたらと思う。 お迎えの時など「今日こんなことがありました。誉めてあげてください」と保護者に伝え、子どもとの会話の時間、きっかけをつくる助言は取り組んでいる。
少子化で子どもの数が減少していることもあり、学童でもひとりっ子がふえている。兄弟姉妹の経験がなく、異年齢との関わりがうすく、学年がちがうことで年々トラブルがふえている。	新1年生を迎えるタイミングで、幼い未熟で不安な1年生を自分たちが支えて育んでいくんだという自覚をもたせる。以後、学年混合の班で、1年生を見守りつつ、様々な活動で深い関わりになるよう支援する。
離婚が多い。	子どもたちの精神的な支えになる場所

問7 台風や地震などの災害発生時に、貴団体が対象としている子どもは安全に避難することができますか。（1つに○）

	%
避難できと思う	42.1
避難できないと思う	26.3
無回答	31.6
合計	100.0

「避難できと思う」理由	
今回、鉄骨の建物に建て替え、耐震性もあり、広さもあり、避難物資も確保しているので	
毎年研修で事前練習をしているので知識はあると思われますが、実際は・・・？	
・理想ではあるが、そう願いたい 家庭にいる時であれば親が責任をもつ。園にいる時であれば先生方、学校であれば先生方が指導されると思うから、その為には各自が意識を持たなければいけないと思うから	
近くに市営の住宅がある。5階建てなどで、緊急時には非難することを自治会に伝えてある	
災害発生時の避難マップやネットでの誘導があれば避難するのは可能	
避難訓練を年に数回行っているので職員がしっかり指示、誘導して避難できると思います。避難場所も職員も把握しており、児童も把握できるように小学校と同じ場所にしています。	
放送・緊急メール等で避難情報を知らせ、避難場所も近くの北小学校体育館であるため大丈夫と思う。学童でも避難訓練を定期的に実施している。	
園にとどまる。	
「避難できないと思う」理由	
・物理的に老朽化した家屋に住んでいたり、近隣住民との関係が希薄であったりすることが多く、いざという時に助け合える人がいないことが多い。 ・高齢の祖父母が養育している場合など、速やかに避難することが出来ない。 ・避難所などでは十分な配慮が必要なケースが多い。	
・昼間であれば親が仕事で不在の為 ・おそらく、どこに非難する等を保護者と共有できていないと思う。	
地域の中でどこに、だれが住んでいるのかわからない（住民台帳等が現在はないので）住んでいる近所だけはわかります	
部署によるが、障害児分野は難しいと思われる。	
親子一緒にいる時は、子供一人につき大人がいるので安心ですが、分離の時は、職員3、4名で避難となると難しい。避難訓練では避難できるが、予測外のことが苦手な児も多いので避難が難しいかもしれない。	
無回答	
学校が休みの場合には、学童も自動的に休みになっており、避難することがない。	

問8 子どもが公共施設や道路を利用するにあたって、事故の危険や不便を感じるがありますか。（1つに○）

	%
危険や不便を感じる	47.4
危険や不便を感じない	0.0
無回答	52.6
合計	100.0

【危険や不便を感じる】具体例

随分歩道が確保されていますが、一部狭くて歩道がないところもあるので、拡張して欲しいです。
・ハピネスなかまの送迎バスが運行時間の関係で利用できないことがある。 ・通谷駅近辺については交通量も多く、危険を感じるが多い。
・もう一度子供の目線にあわせて見直しがされることを願う ・段差や整備不良が目立つし、誰が使うのか、誰のためのものかを考えて欲しいと思う
・不審者の出没 ・道の狭さ(歩道の狭さ)
住んでいる地域が大雨等の災害にあった時に低い土地のため非難が厳しい
小学校の下校時間は横断歩道のところに大人がたって交通指導を行っているときがあるが、学童保育所から降所する時間は通常の下校時間と異なるため大人の視線が少ない。
駐車場が少ない。門がなく道路に飛び出しそうで危険を感じる。
夜間は、細い奥まった道は、暗いし怖い。夜の暴走族の車やバイクの音が怖い。
底井野地区は公共施設から遠い。
こどもが一人で帰宅しているのを見て、一人で横断歩道の手前で押しボタンを左右確認しながらわたっていた。

問9 子育てサービスの現状や子育ての経験などから、どのような支援策の充実を行政に望みますか。または子育ての課題に関連して困っていること等がありましたら、教えてください。

行政に望む支援／子育ての課題に関連して困っていること等
子育ては親の自分たちが死ぬまで続きます。そんな中で親としてできることは子ども達が社会で自立して生きていく力を引き出してあげることです。“自分は自分らしく！自信が持てるように”“人は生きていく中で、「やるべき仕事があり、仲間がいること、そして収入を得ること」が、生きていくうえで大切なのではないのでしょうか。コロナ流行もあり、人と人との距離が遠くなりました。当事業所は親子教室を重視しています。佐々木正美先生の“人を信じて 自分を信じて ”という言葉にとっても共感しています。まずは、人を信じる力を育てたい！それには幼い頃から人と接すること、たくさんの人から声を掛けられ、人の声に耳を傾ける力を親子共々身に付けてほしい。それには体を使って親子で一緒に楽しく遊び、親子一緒に声を出して「楽しかったね」と言う気持ちをたくさん、たくさん体験してほしい。楽しいから「次もやりたいなあ」という意欲を育てていき、「やった」「やれた」と言う達成感を味わうことで、自己肯定感が育ちます。「みんな違ってみんないい」金子みすゞさんの言葉をよく耳にします。当事業所は、2才～高校生、そして高校卒業後して就職しても、人間関係がうまくいかないなど様々な親子から相談を受けています。“三つ子の魂百まで”の言葉が死語になってはいけません。以前読んだ「育児室からの亡霊」の中で、「胎児期から幼児期に暴力などで否定的な扱いを受けた赤ちゃんの脳は、その発達が阻害される」とありました。現在虐待ケースも多く、しつけなのか？虐待なのか？シングルの親も増え、一人で子どもを育てる中で、ついイラっとして手が出たり、暴言が出たりすることも多いと思います。中間市が提唱する「向こう三軒両隣」と言う昔ながらの声を掛け合う関係の仲間作りが出来たらと思います。5～6年前当事業所は親子通園でした。当時のお母さんたちは大変だったけれど、今になれば同じ悩み、苦しみを分かち合えたこと、みんなで井戸端会議できたことが思い出になり、今もその時のママ友と繋がっていると聞きます。今後当事業所においてお母さんたちの仲間づくりをささやかながら支えて行きたいと思います。あと、一番気になっていることは、幼稚園、保育園に入園しても、本人の特性の為、途中で退園を余儀なくされるケースが毎年あります。入園に関して差別はできませんが、本児の特性を周りの大人が理解してあげて入園許可を出してあげればと感じます。不登校の子ども達にも、学校と家庭と関係機関で話し合いを持ち、学校に行けなくても放課後等デイサービスの利用ができれば出席扱いにもらえるのか？支援策の充実を行政に望むこととして意見交換できる機会をお願いします。中間市が、気になる子ども達の親子教室“ちゅうりっぷ教室”を立ち上げ、遠賀四町に広まりました。これからも“子育てしやすい中間市”を目指してください。発達障がいを見てくれる“発達外来”（診療所）などが市内にあると、市民は助かると思います。
指導員の処遇改善及び夏休み等の長期休暇中の加算
・子育てに関わる費用の軽減。子育てに関わる経済的な支援。 ・中間市に限る話ではないが、ひとり親や子育て世帯が困窮した際に、車の保有が認められないことから生活保護の相談を断念するケースが多い。現実的な交通手段や移動方法を確保できない。（多子世帯、遠方への通院、保護者自身が公共交通機関を使えない等） ・行政によるサポートを充実してほしい。いずれの窓口も（当センターも）人手が足りていない為、必要な支援に入れていない世帯が多いと感じる。現状の活動は最低限でしかないので、充実する必要がある。 ・安心して育児に臨める、子育てが出来ると思えるには、「この地域や行政は、私や子どもを応援してくれている、一緒に考え動いてくれている」という根本的な安心感が必要だと思う。当センターも含め、本当にそのようなメッセージを発信できているか見直したい。支援策以前に、行政含め市内全体の関係者でのマインドセットが課題だと思う。
青少年の健全育成は、対処療法ではなく「こどもが生まれる前からみんなで関わる」ことが大切であり、こどもだけでなく親も変えていく必要があります。しかし、大人は簡単には変わりません。人を変えるためには環境が大きなキーワードとなります。環境は、一人二人ではなかなか変わりません。しかし、声を上げないと始まりません。個への支援策は大切です。それと同時に環境を変える方策も進めていかなければ、状況は変わらず効果も現れません。みんなで声を上げ、みんなで子育てをする中間市を、街を創るための動きを意識してほしい。行政が、今行っている施策をもう一度見直す時期なのかもしれません。支援策も進化しながらみんなを巻き込んで楽しみながら元気をもらえる方策ができればいいですね。一方通行の支援策から一緒にみんなで取り組む楽しい方策を期待しています。「子育て」は夢がないと楽しくないですね。関わる私たちも夢が持てるわくわくする施策が大切なのかもしれません。一緒に、夢を持ってみんなで取り組みましょう！

行政に望む支援／子育ての課題に関連して困っていること等
ふれあいキッチンなかま食堂をもっとたくさんの子育て世帯の方に利用してほしいと思っています。小中学校で、ふれあいキッチンなかま食堂のチラシを配布して頂きたいです。ふれあいキッチンなかま食堂は月一度しかやっていません。 また南校区のハピネスでやっている為、どうしても底井野校区や中間校区の子供さんは来づらい面があります。各校区に1つずつ子供食堂が立ち上がれば地域の子供達を見守る目が増えると思います。 北九州市のように、子供食堂を立ち上げる時のサポート(金銭面や場所の提供、衛生管理の助言等)を市がもっとすれば、中間市にも子供食堂が増えて、地域で子育てを応援できると思います。 また、北九州市の子供食堂は地域の小学校との連携がとれていてのを知って、できたら中間市でもゆくゆくそういう関係性が地域の小中学校と取れたら良いなと思います。守秘義務等ありますでしょうが、地域の民生委員さん、主任児童委員さんにも積極的に子供食堂に携わってもらえたらありがたいです。
○子育てのイベント(親子のためのコンサート、講演会、人形劇) ・子供に本物を見せたい、聞かせたい、触れさせたい ・親のための癒しの場、出会いの場を作りたい ・中間市に住んで良かったと思えるような子育てサービスをして欲しい
給食費の無償は是非継続して頂きたいと思います
・各自治体集会所を子供たちの居場所として位置付け、活動できる環境整備(物的・人的) ・同様に高齢者、障がい者等の活動を保障する環境整備 ・まちづくり協議会への支援①財政支援②人材支援(社会福祉士等の配置)
図書館の席数の確保の声がありました
物価高になってきているので、お金のかからない子育てサービスの充実をもっとしてほしい。 医療費・ワクチン代・給食費
・保護者には、子どもを通して保幼からの連絡を取り合う(グループライン等)保護者も数多くいて、他の学校の学童の状況等をよく知っていて、比べるつもりで話しているわけではないのだろうが……。やはり、各々の特色もあっていいこととは思いますが、ある程度、統一性を持つことが必要ではないかと節に思います。 ・雨降りのお迎えの際、道路(?)が穴ぼこの様にくぼみが多数でき、車が底をついた保護者もいた。この道の苦情は保護者から多数出ている。 ・現在、何もかも物価高で、子供達に毎日あげるおやつにも支障がある。おやつ代をあげてほしい。

小学6年生向けワールドカフェ報告書

報告者 NPO 法人中間市地域活性化協議会

富田 誠二

福永 純也

1. 開催概要

(1) 日時・場所

令和6年11月6日（水）14時から15時30分まで
中間市立中間東小学校

(2) テーマ

「こんな居場所があったらいいな」

(3) 目的

小学6年生が理想とする居場所についての意見を
自由に出し合う。

(4) 参加者

中間市立中間東小学校6年生 72名

(5) 形式

ワールドカフェ形式（全4ラウンド）

(6) スタッフ

市こども未来課職員 7名、NPO法人中間市地域活性化協議会 2名、委託業者 3名



2. 多く出された意見の概要

(1) 自然環境や公園

「大きい公園」「天然芝の広場」「ボールが使える場所」など、広くて自由に遊べる自然空間が求められていました。

(2) スポーツ・アクティブな活動の場

「バスケット」「サッカー」「プール（温水・室内）」など、年間を通じてスポーツが楽しめる場所が人気でした。

(3) リラックス・静かな空間

「ゆっくりできる」「一人になれる」「いつでも気軽に行ける場所」といった、落ち着いて過ごせる空間も重要視されています。

(4) 公共施設や文化的施設

図書館、美術館、博物館、動物園、水族館など、多様な知識や文化に触れる場も人気がありました。

(5) 娯楽施設や店舗

ショッピングモールや遊園地、カフェなどの「娯楽や買い物ができる場所」も挙げられ、アクティビティに幅がある施設が求められています。

(6) 動物とのふれあい

「猫カフェ」「犬カフェ」「ドッグラン」など、動物と触れ合える場所も多くの意見に含まれていました。

(7) 無料で利用できるサービス

「バスや電車の無料利用」「Wi-Fi」「自転車の貸し出し」など、費用を気にせずに利用できるサービスが求められています。



3. 分析結果

(1) アクセスの良さと自由度の重視

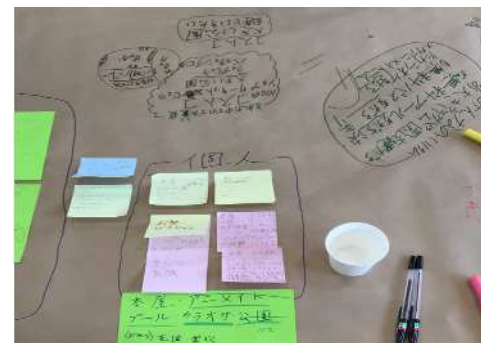
子どもたちは「気軽に行ける場所」「無料で利用できる」といった、アクセスしやすさと費用の負担が少ない場所を求めています。これは、経済的なハードルを下げることで、より多くの子どもたちが参加しやすくなることを示しています。

(2) 多様な体験機会に対するニーズ

スポーツからリラックス、学習まで、多様なアクティビティが一箇所で体験できる場所が求められていることが明かです。特に、スポーツや勉強の場だけでなく、動物と触れ合う場など、様々な体験を通じて豊かな時間を過ごせる環境が理想とされているようです。

(3) 自然環境や動物とのふれあいのニーズ

公園や動物と触れ合える場所が多く挙げられており、自然や動物を身近に感じられる場所に対するニーズが見受けられました。自然と触れ合うことでリラックスできる空間が求められていると考えられます。



(4) 文化的・教育的な場の充実

図書館や美術館といった学びの場も求められていることから、知識や文化に触れる機会も重要視されていることがわかります。このような場所があることで、学習環境の充実も期待されていると考えられます。

4. 提言

上記の分析結果を踏まえ、今後の居場所づくりに対して以下の提言を行います。

(1)無料で利用できるオープンなスペース

無料で利用できる公園やスポーツ施設、Wi-Fi や自転車貸し出しなど、自由にアクセスできる場所を提供することで、経済的負担を軽減し、多くの子どもが気軽に利用できる環境を整えることが望まれます。

(2)多様な体験が可能な複合施設

スポーツ、勉強、リラックス、動物とのふれあい、文化体験が一箇所でできる複合施設の構築が理想的です。これにより、子どもたちが一日を通じて充実した時間を過ごすことが可能となります。



(3)自然環境との調和

広い公園や動物と触れ合える場所の提供も、子どもたちの情緒やリラックス効果に貢献するため、自然を感じられる環境づくりが重要です。

(4)学びと遊びのバランス

図書館や博物館、アクティビティを楽しめる場所など、学びと遊びが調和する施設を提供することで、子どもたちの知的好奇心を育むと同時に、リラックスや気分転換ができる場を作ることが求められます。

5. 結論

今回のワールドカフェを通じて、6年生が理想とする居場所には、多様なアクティビティと自由なアクセスが重視されていることがわかりました。今後、これらのニーズを取り入れた居場所づくりを進めることで、子どもたちが快適に過ごせる場所が増え、地域全体の活性化にも繋がることを期待されます。

高校生ワールドカフェ報告書

報告者 NPO 法人中間市地域活性化協議会

富田 誠二

福永 純也

1. 開催概要

(1) 日時・場所

令和6年11月19日（火）13時から15時まで
福岡県立中間高校

(2) テーマ

「自分たちの居場所、地域に役立つ場所について考える」

(3) 目的

高校生が理想とする場所を自由に発想し、地域社会にとって有益な施設や空間の具体的な提案を引き出す。

(4) 参加者

福岡県立中間高校2・3年生 17名（男性13名 女性4名）

(5) 形式

ワールドカフェ形式（全4ラウンド）

(6) 最終提案

各班が独自に構想した理想の施設・都市設計プランを発表。

(7) スタッフ

市こども未来課職員 7名、NPO法人中間市地域活性化協議会 2名、委託業者 2名



2. データ分析結果(個人)

(1) 頻出意見の傾向

テキストマイニングを活用し、頻出語や共起ネットワークを分析しました。以下のキーワードが特に頻繁に現れました。

居場所・無料・勉強・相談・公園

これらのキーワードが共起しており、「無料でアクセス可能な学習スペース」や「相談できる環境」が理想的な居場所として求められていることが明確になりました。また、「無料で学べる場所」「勉強できる場所」が強いニーズとして浮かび上がりました。

(2) 地域性の反映

個人からの意見では、「地域貢献」や「環境改善」へのアイデアは少なく、主に「公共施設」や「交流の場」を重視する姿勢が見られました。

3. 創造性の発展案

高校生の意見を基に、以下の新しい施設の提案が考えられます。

(1) スポーツと学びの複合施設

フィットネスジム、スタジオ、スポーツコート、図書館、カフェを併設。

スポーツ後に学びや読書でリフレッシュできる環境。

(2) コミュニティカフェ

市民交流や歴史学習ができるスペース。

市長や行政関係者と直接話せるイベントを定期開催。

(3) 動物と触れ合う学びの場

小動物園とカフェを併設し、動物とのふれあいを通じた癒しと教育を提供。

動物保護の啓発プログラムを実施。

4. 各班の最終提案

以下は各班がまとめた最終提案の概要です。

班① 巨大公園構想

施設

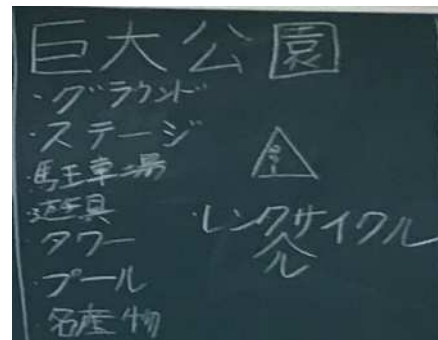
グラウンド（スポーツやイベントに対応）

遊具（子ども向けアクティビティ）

シンボリックなタワー（地域のランドマーク）

プール（夏場に利用可能）

名産品販売所（地域特産品のマーケット）



班② ショッピングモール複合施設

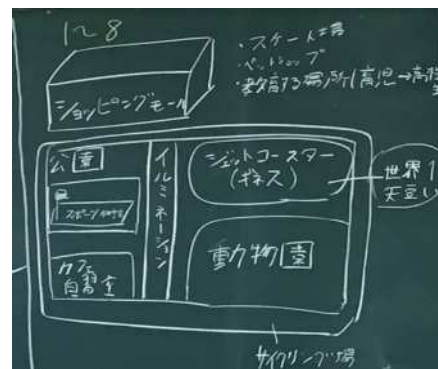
施設

ショッピングモール（多様な店舗）

スポーツ施設、カフェ（自習室付き）

娯楽施設（ジェットコースターや動物園）

サイクリング場と自転車レンタルサービス



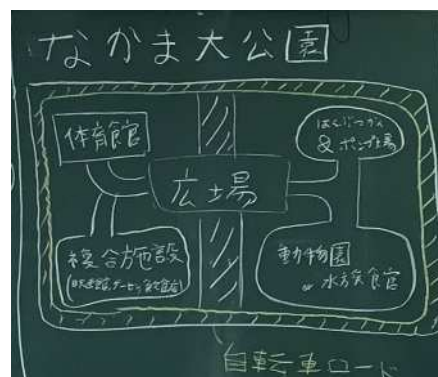
班③ 大公園複合施設

施設

動物園・水族館（自然や動物とのふれあい）

映画館、ゲームセンター、飲食店（娯楽エリア）

体育館（スポーツ専用施設）



班④ 温泉・スケボーパークを備えた大公園

施設

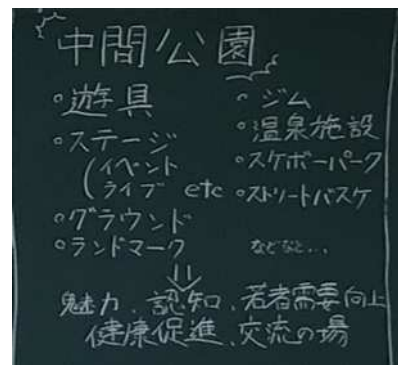
遊具（子ども向けスペース）

ジム（健康維持・運動）

温泉施設（リラックスできる場）

スケボーパーク（若者向けアクティビティ）

ステージ（イベントやライブ）



5. 提案の共通点と特徴的なアイデア

(1) 提案の共通点

複合施設

各班とも「多機能性」を重視し、異なる目的で利用可能な施設を提案。

公園型都市計画

公園を中心に据えた設計が共通しており、緑地や自然環境への配慮が見られる。

娯楽と利便性の両立

幅広い年齢層が楽しめる施設（スポーツ、動物園、飲食施設など）が盛り込まれた。

(2) 各班の特徴

班①、班③、班④

公園を中心に据えた大規模施設の設計。

班②

ショッピングモールを軸にした都市計画。利便性に加え、アクティビティを強化。

6. 「コンパクトシティ」の観点からの分析

(1) コンパクトシティの要素

多機能性

娯楽、学び、スポーツ、癒し、買い物など複数の機能を一つのエリアに集約。

移動効率化

サイクリング場や自転車レンタルサービスの導入でエリア内での移動手段を確保。

地域のシンボル

シンボルタワーやランドマークを提案し、都市のアイデンティティ形成に寄与。

持続可能性

緑地や自然環境を取り入れることで、環境保全への配慮。

(2) コンパクトシティに欠けている視点

エリアの経済性や資金面の考慮

大規模施設の実現可能性に関する議論が不足。
地域全体の活性化効果
提案が一地域に限定され、周辺地域との連携についての議論が不十分。

7. 総合的なテーマと方向性

高校生たちは「一箇所でさまざまな活動ができる空間」を望んでおり、特に多機能で多世代に対応する施設の構想が強調されました。この傾向から、次のような方向性が浮かび上がります。

(1) 方向性

「コンパクトシティ型」の発展

レジャー、教育、スポーツ、癒し、文化体験などを一体化させた施設を目指す。

(2)「滞在型施設」の重要性

通過点ではなく、地域内外の人々が目的地として訪れる場所の提供。

8. 結論

本ワールドカフェイベントでは、高校生たちが理想とする居場所や地域に役立つ施設について自由な発想を示し、具体的な提案を生み出しました。地域に役立つ施設として、共通して見られる特徴は、複合施設の提案が多かったことです。スポーツ、学び、癒し、文化体験など、異なる目的を同時に満たす施設が求められていることが伺えました。また、緑地や公園を中心とした設計が多く、自然環境を大切にしつつも、娯楽や学びの要素を融合させた都市計画の重要性が示唆されました。

地域性や多世代のニーズに対応する視点も重要であり、高校生の意見は主に「若者向け」でしたが、高齢者や障がい者を含む多世代が共存できるような施設設計も必要です。提案の中で、特に「コミュニティカフェ」や「スポーツと学びの複合施設」といった地域の交流を促進する場所や、「動物とのふれあいを通じた学びの場」といった癒しの要素が、地域社会にとって重要な役割を果たす可能性が高いと感じました。

さらに、提案された施設が「コンパクトシティ」の概念に通じる点も評価できます。複数の機能を集約し、効率的に利用できるエリアの構想は、持続可能な都市づくりの方向性として非常に有望です。特に、地域経済の活性化や交通インフラとの連携を考慮した施設設計が求められます。

これらの提案は、中間市にとって非常に価値があり、将来的な都市計画に活かせるポテンシャルを持っています。今後は、高校生たちの提案をもとに、具体的な事業計画や地域活性化の施策に反映させ、現実的な実行段階へと進めて頂けることを切に願います。



参考

分析手順は以下の通り

(カテゴリ分類)

各項目が示す内容を「自然環境」「アクティブな活動」「リラックス・静かな環境」「教育・文化」「娯楽」「動物とのふれあい」「便利なサービス」というようなカテゴリに分類します。これにより、各カテゴリがどれだけ重要視されているかを定量的に捉えることができます。

(ニーズの特定)

各カテゴリごとに共通しているキーワードや特徴を見つけ出します。例えば、「居場所」「公共施設」「無料で利用できる」などの要素から、子どもたちが求めているニーズを特定します。これにより、「リラックスできる空間」「学習や相談ができる場所」「無料または低価格での提供」などが求められていることが明らかになります。

(定量化と優先度設定)

各カテゴリに含まれる意見の数を数え、どのカテゴリが最も多く挙げられたかを把握します。例えば、「公園」や「スポーツ施設」に関連する意見が多い場合、それが高い優先度を持つニーズであると解釈できます。

(クロス分析)

「無料で利用できる」「勉強できる」「いつでも気軽に行ける」など、異なるカテゴリにわたって現れる特徴をクロス分析します。これにより、例えば「無料かつ勉強や相談ができる場所」という具体的なニーズが明らかになり、それに応じた施設の設計に役立てることができます。

(テキストマイニング)

テキストマイニングの手法を用いて頻出語や共起ネットワークを解析します。特定のキーワードがどのように関連しているかを視覚化することで、子どもたちが求めている理想の「居場所」の具体像を把握できます。